J

DISC DESIGNER

ディスクデザイナー

Ver.2.00　（CW-E60用）

Windows®対応

取扱説明書

「まずは試しに作ってみたい」方は「**お試し印刷編**」へ

「できるだけ簡単に作ってみたい」方は「**手軽に印刷編**」へ

「自由に作ってみたい」方は「**本格印刷編**」へ

「ディスクケースのタイトルバーを作りたい」方は「**ディスクケースのタイトルバー編**」へ

本製品を使用したディスク※への印刷は、ディスクにデータを記録する前に行われることをおすすめします。
すでにデータが記録されているディスクに印刷した場合、データ破損の保証はいたしません。
また、当社はいかなる理由においてもディスクの記録データの保護ならびに破損についての責任は一切負えませんので、あらかじめご了承ください。
※ CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RWなどのメディア

ご使用の前にお使いのプリンターの取扱説明書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

CASIO®

ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利は、すべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

Microsoft, Windows, Windows Media, およびWindows NTは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Pentiumは米国インテル社の登録商標です。

Macintosh, Mac OS, iTunesおよびTrueTypeは、Apple Computer, Inc.の米国および各国での登録商標です。

Easy CD Creatorは、米国ロキシオ社の商標です。

WinCDRは、株式会社アプリックス社の登録商標です。

その他本書に記載されている各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

© Copyright 2006 CASIO COMPUTER CO., LTD.
All rights reserved.

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

ご使用になる前に、必ず本書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

■本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。
■本ソフト使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
■本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
■本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。

- 本ソフトは、Windows XP/2000 Professional/Me/98SE/98上で動作するアプリケーションソフトウェアです。
- 本ソフトを使用できるプリンターは次のとおりです。
（2006年8月現在）
KLD-200 KLD-300 KLD-700 CW-50 CW-70 CW-100 CW-E60 CW-K80
- 本ソフトは、ディスクに印刷するための商品です。ディスクにデータを記録する商品ではありません。
- 機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。
- 動作環境については、お使いのプリンターの取扱説明書をご覧ください。

もくじ

本書の見かた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
本書での説明について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
こんなことができます ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
印刷データと印刷エリアについて ・・・・・・・・・・・ 10
印刷データとは？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
印刷エリアとは？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
本書の構成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

お試し印刷編

まずは作ってみましょう ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
作成する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
印刷する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
データを保存する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
ソフトを終了する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

手軽に印刷編

印刷形式を選ぶ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
画面について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
右クリックメニュー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
データを呼び出す ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
レイアウトを設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
印刷パターンを設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
テンプレートを設定する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
フォントの種類、形、大きさを設定する ・・・・・ 30
文字データを読み込んで印刷データを作る ・・・ 32
CD-TEXTの文字データを読み込む(音楽用印刷形式) ・・・ 32
Windows Media Playerを使って書き出した
テキストを読み込む(音楽用印刷形式) ・・・・・・・・・ 34
iTunesを使って書き出した
テキストを読み込む(音楽用印刷形式) ・・・・・・・・・ 35
Easy CD Creatorを使って書き出した
テキストを読み込む(音楽用印刷形式) ・・・・・・・・・ 36
WinCDR用に作成した曲名ファイルを
読み込む(音楽用印刷形式) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
フォルダ名やファイル名を読み込む
(音楽用、データ用、デジタルカメラ用印刷形式) ・・ 38
以前のバージョンのソフトで作成した
データを読み込む ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
画像を挿入する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
ファイルを選択して画像を挿入する ・・・・・・・・・・・・ 40
パソコンの画面を取り込む(キャプチャー) ・・・・・ 40
画像の縦横比・位置を設定する ・・・・・・・・・・・・・・・ 42
カラー画像のモノクロ化について ・・・・・・・・・・・・・ 43
画像集を使う ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
データー覧ファイルを作成する ・・・・・・・・・・・・・ 44

本格印刷編

**文字やレイアウトを自由に決めて作る
(フリーデザイン・フリーテキスト) ・・・・・・・・・ 46**
テキストも画像も一緒にデザインしたいときは ・ 46
自由にテキストを入力・編集したいときは ・・・・・ 46
フリーデザインについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
フリーデザインとは？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
作成の流れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
フリー形式の画面について ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48

フリーデザインの画面について …… 48
フリーテキストの画面について …… 48
各項目の説明 …… 49
ツールバーについて …… 49
右クリックメニュー …… 51
フィールドについて …… 52
フィールドの種類 …… 52
共通の操作 …… 53
文字を入力する …… 53
編集エリアに文字を入力する …… 53
文字フィールドを削除する …… 54
入力したテキストを編集する …… 55
フォントの種類・大きさ・形を設定する …… 55
行と行の間隔を設定する …… 55
画像を挿入する …… 56
画像を挿入する …… 56
画像を削除する …… 56
図形を挿入する …… 57
図形を挿入する …… 57
図形を削除する …… 57
左右の印刷エリアに入力する …… 57
印刷できるエリア …… 57
フィールドのサイズを変更する …… 59
フィールドを配置する …… 59
フィールドを配置する …… 60
フィールドのプロパティ …… 61
自分で作ったレイアウトを登録する …… 62
レイアウトを登録する …… 62
登録したレイアウトを呼び出す …… 63
簡易テキスト入力を使う …… 63
フリーテキストについて …… 63
フリーテキストとは？ …… 63
作成の流れ …… 64
文字を入力する …… 64

ディスクケースのタイトルバー編

ディスクケースのタイトルバーを作る …… 66
タイトルバー用データを作る …… 67
プレートに印刷する …… 69
画面について …… 71
タイトルバー作成画面 …… 71
各項目の名称と機能 …… 72
右クリックメニュー …… 73
ディスクの文字データをタイトルバーに使う … 73

その他編

詳細設定について …… 75
印刷時の設定をする …… 75
定型句を登録/削除する …… 75
操作上の注意書きの表示／非表示を切り換える … 76
タイトルバーを印刷するときの詳細設定をする … 76
スタイルの保存をする …… 77
ヘルプ機能について …… 77
ヘルプを使う …… 77
定型句一覧 …… 78
こんなときは（トラブルシューティング）…… 78
エラーメッセージ一覧 …… 80

本書の見かた

本書での説明について

■Windowsの操作説明はしていません

本書は「ディスクデザイナー」の取扱説明書です。本ソフトは、Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE/98（以後Windowsと記述します）上で動作するアプリケーションソフトであり、本書では、Windowsそのものの操作については説明しておりません。
本書は、本ソフトをご使用になるお客様が、少なくとも以下のようなWindowsの基本操作に習熟されていることを前提として書かれております。

- クリック、ダブルクリック、右クリック、ドラッグ、ドラッグ･アンド･ドロップなどのマウス操作
- マウスによるメニュー操作
- キーボードによる文字入力
- Windowsに共通のウィンドウ操作

これらWindowsの基本的な操作に関しましては、お手持ちのパソコンまたはWindowsパッケージ付属の取扱説明書をご覧ください。

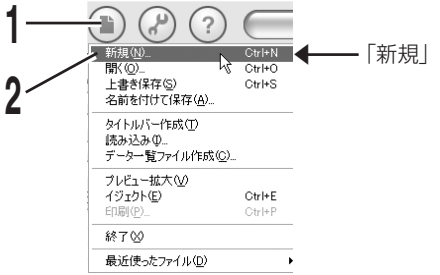
■本書での名称について

本書では、KLD-200/KLD-300/KLD-700/CW-50/CW-70/CW-100/CW-E60/CW-K80本体のことを「プリンター」と呼びます。

ヘルプ機能について
操作中に操作方法や注意事項を画面上で確認できるヘルプ機能がついています。（77ページ）

■ボタン操作の表記について

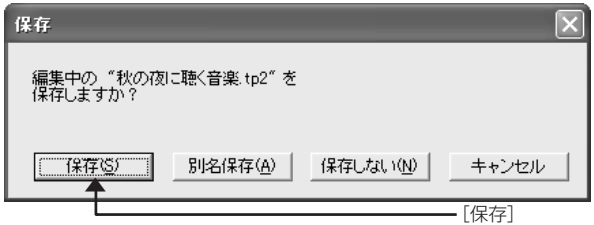
本書でのすべての操作は、マウスを使用することを前提としています。
• 操作方法は、次のような形で表記しています。



1 をクリックします。

2 表示されたメニューから「新規」をクリックします。

• ダイアログボックス中のボタンは次のような形で表記します。



[保存]をクリックします。

■キー操作の表記について

本ソフトでは、マウスの操作とキーボードでのキー操作を併用することがあります。使用するキーには“Ctrlキー”、“Shiftキー”、“Altキー”があります。本書ではこれらのキーを[Ctrl]キー、[Shift]キー、[Alt]キーとそれぞれ表記します。これらのキーは、AやBといったアルファベットキーと併用される場合もあります。

- ●本書記載の画面/操作はWindows XPを例に説明しています。その他のOSでは本書記載の画面/操作と異なることがあります。
- ●本書ではCW-E60を例に操作の説明をしています。その他のプリンターをお使いの方は、それぞれのプリンターの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- ●本書中で使用している表示画面は、実際の画面と若干異なる場合があります。

こんなことができます

プリンターと接続すれば本ソフトで編集した印刷データ（10ページ）をディスクに印刷することができます。

●音楽データを記録するディスクには...

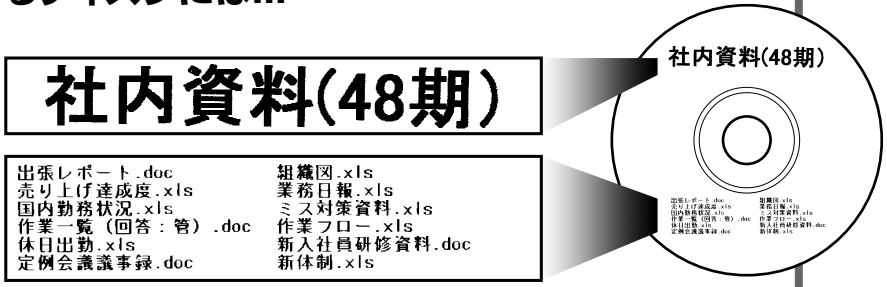
自分で入力したアーティスト名や曲名・タイトル名などを印刷できます。（13ページ）

またWindows Media™ Player、iTunes、Easy CD Creatorなどで取得した曲名情報や、CD-TEXTからの文字データを読み込むことができるので、入力の手間が省けます。（32ページ）

- 本書に記載の画面は、Windows Media Player for Windows XPを例にしています。

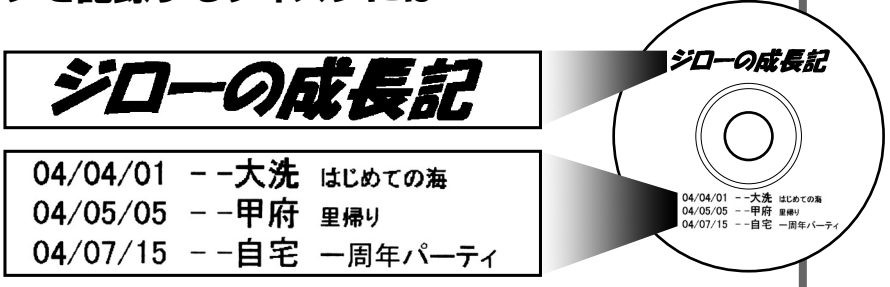
●パソコンのデータを記録するディスクには...

ディスクに記録するフォルダ名やファイル名などを、印刷できます。(23、38ページ)



●デジタルカメラの撮影データを記録するディスクには...

撮影した日付や内容などを、印刷できます。
(23、38ページ)



こんなことができます

★文字や画像を組み合わせて自由にデザインしたオリジナル印刷データを印刷できます。

フリーデザイン→46、47ページ

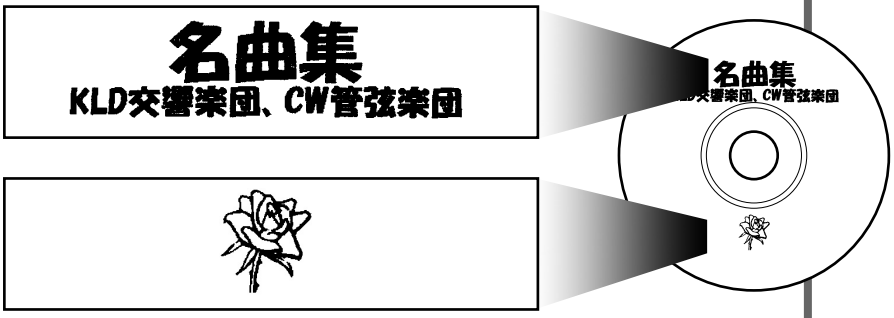
★ワープロ感覚で文字を編集・修飾できます。

フリーテキスト→46、63ページ

★パソコンに搭載されているフォント（書体）で印刷できます。
（30、55ページ）

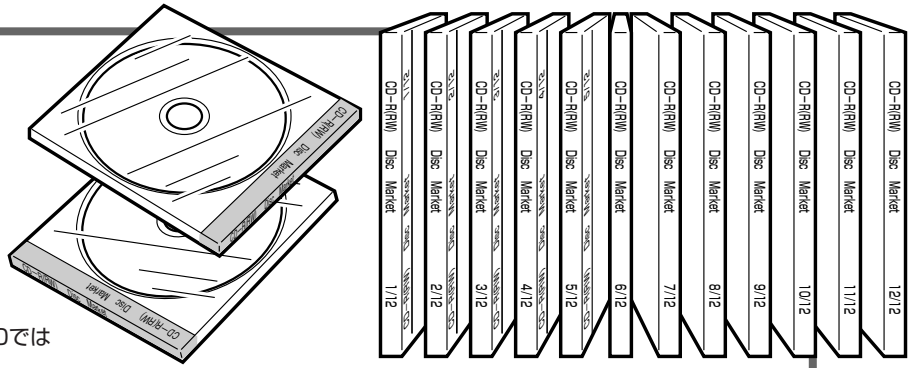
★文字のほかに、画像も印刷することができます。
（40、56ページ）

• 文字や画像はモノクロで印刷されます。



★専用のタイトルバー用プレートに、ディスクケースのタイトルなどを印刷することができます。
（66ページ）

• KLD-200/KLD-300/CW-E60/CW-K80ではこの機能は使用できません。

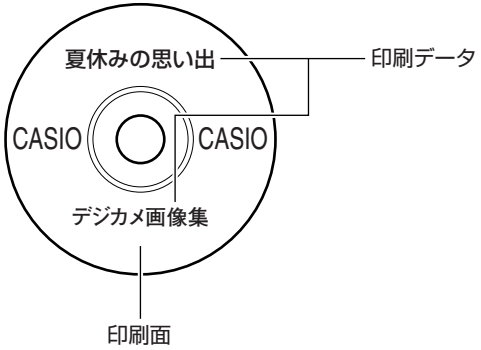


印刷データと印刷エリアについて

印刷データとは？

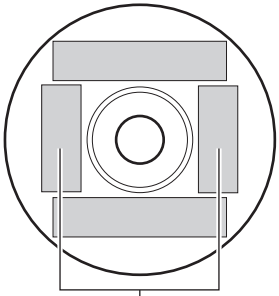
本書では、ディスク印刷の用語について、次のように定義しています。

- ディスクに対して、プリンターを使って印刷を行う面：**印刷面**
  （ディスクメーカーのロゴ等が印刷されている面）
- 印刷面に印刷する文字やイラスト/画像のすべて：**印刷データ**



印刷エリアとは？

本書では、印刷データを印刷できる場所を「印刷エリア」と呼びます。



:印刷エリア

お使いのプリンターがKLD-700またはCW-100のときに、左右の印刷エリアに印刷ができます。

- 本ソフトで左右の印刷エリアに印刷できるのは、フリーデザイン機能のみです。

本書の構成

本書は目的別に説明が分かれています。やりたいことに合ったページをご覧ください。

準備してください

ソフトのインストール
お使いのプリンターの取扱説明書をご覧になり、ソフトをインストールしてください。プリンター本体とパソコンの接続については、以下の取扱説明書をご覧ください。

・KLD-200、KLD-300、KLD-700、CW-K80…プリンター同梱の「はじめにお読みください」
・CW-50、CW-70、CW-100、CW-E60についてはそれぞれの機種に同梱された取扱説明書をご覧ください。

まずは試しに作ってみたい

お試し印刷編（12ページ）

★音楽用印刷形式を例に、作成から印刷・保存までの流れを一通り体験してみてください。

ディスクケースのタイトルバーを作りたい

ディスクケースのタイトルバー編（65ページ）

★ディスクのタイトルなど、タイトルバー用プレートに印刷する方法について説明しています。

できるだけ簡単に作ってみたい

手軽に印刷編（22ページ）

★定型フォーマットを使って手軽に作る方法について説明しています。
●音楽用・データ用・デジタルカメラ用の定型フォーマットが用意されています。
●印刷については「印刷する」（17ページ）をご覧ください。

もっと自由に作ってみたい

本格印刷編（45ページ）

★文字やレイアウトの設定を自由に決めて、思い通りに作る方法について説明しています。
●文字や画像を組み合わせて自由にレイアウト　→フリーデザイン
●文字を自由に入力・設定→フリーテキスト
●印刷については「印刷する」（17ページ）をご覧ください。

お試し印刷編

まずは作ってみましょう

ソフトのインストールとプリンターとの接続ができたら、試しにデータを作ってディスクに印刷してみましょう。

- お使いのプリンターの取扱説明書をご覧になり、ソフトをインストールしてください。
- プリンターとパソコンの接続については、KLD-200、KLD-300、KLD-700、CW-K80の場合は、プリンター同梱の「はじめにお読みください」をご覧ください。その他のプリンターをお使いの場合は、お使いのプリンターの取扱説明書をご覧ください。

印刷例

作成する

重要 本ソフトをご使用になる前に、専用のプリンタードライバーをインストールしてください。専用のプリンタードライバーがインストールされていないと、本ソフトは起動しません。

プリンタードライバーは、お使いのプリンターの取扱説明書をご覧になりインストールしてください。

1 デスクトップ上の「DISC DESIGNER」アイコンをダブルクリックします。

- Windowsの［スタート］ボタンから「すべてのプログラム(P)」→「CASIO」→「DISC DESIGNER」→「DISC DESIGNER」とクリックして起動することもできます。(インストール時の設定によっては上記の操作と異なることがあります。)

ソフトが起動して、「印刷形式選択」ダイアログが表示されます。

2 作成したい印刷形式の種類を選びます。

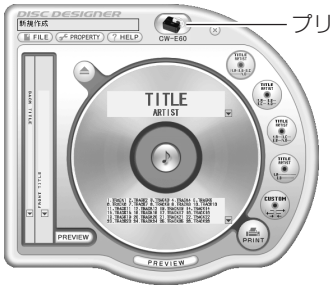
ここでは をクリックします。

『編集』画面と『プレビュー』画面が表示されます。

・『編集』画面だけが表示されたときは17 ページをご覧ください。

『編集』画面

- 画面に表示されている「CW-E60」はプリンタードライバーの名称です。



プリンター選択リスト

『プレビュー』画面

3 プリンター選択リストにご使用のプリンターが表示されていることを確認します。

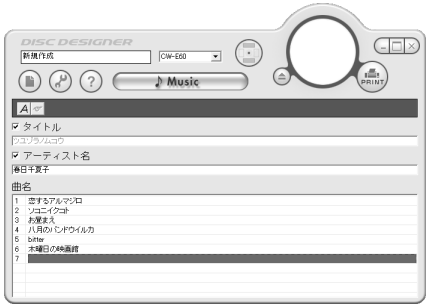
- ご使用のプリンターが表示されない場合は、プリンター選択リストをクリックして、ご使用のプリンターを選択してください。プリンター選択リストをクリックしても、ご使用のプリンターが表示されないときは、いったんUSBケーブルを外してディスクタイトルプリンター用プリンタードライバーを再インストールしてください。インストールが完了したらUSBケーブルを接続してください。

4 文字を入力します。

『編集』画面にカーソルを移動し、タイトル・アーティスト名・曲名をそれぞれ入力してください。

入力した結果が『プレビュー』画面に表示されます。

- 入力した文字のすべての文字あるいは一部の文字が印刷されない項目は文字が赤色で表示されます。この例では後の操作ですべての項目を印刷できるように調整します。



■レイアウトを設定する

本ソフトは、印刷の向き(パターン)や書式のレイアウトを変更することができます。
画面を見ながら、作りたい内容に合わせてレイアウトを選んでください。

5 **『プレビュー』画面の『テンプレート』パネルをクリックします。**

ここでは をクリックします。

ここをクリックする

6 **次に、 をクリックします。**

7 **『プレビュー』画面の▼をクリックします。**

ここをクリックする

8 **印刷パターンを選びます。**

この例では下部の印刷エリアだけに印刷するので「印刷しない」を選びます。

■フォントを選ぶ

文字の大きさを指定します。

9 **『編集』画面の をクリックします。**

「フォント設定」ダイアログが表示されます。

10 **「タイトル」タブが選択されていることを確認します。**

選択されていないときは「タイトル」タブをクリックします。

11 **「フォントサイズ」で文字の大きさを選択します。**

ここでは「2」を選択します。

12 **引き続き、ほかの部分のフォントも設定したいときは、タブをクリックします。**

ここでは次のように設定します。

- 「アーティスト名」のフォントは変更しない
- 「曲名」のフォントは変更しない

フォントの設定について詳しくは、30ページをご覧ください。

13 **[OK]をクリックします。**

文字の入力と設定が完了しました。
続いて、ディスクに印刷します。

■『プレビュー』画面の表示/非表示について

●『プレビュー』画面を表示しないときは...

次の2通りの方法があります。

- 『プレビュー』画面右上の⊗をクリックします。
- 下図のように、『プレビュー』画面を編集画面にドラッグ・アンド・ドロップします。

●『プレビュー』画面を表示するには...

下図のように、『プレビュー』画面を任意の場所にドラッグ・アンド・ドロップします。

印刷する

入力した文字をディスクに印刷してみましょう。ご不要になったディスクなどを印刷のお試し用としてお使いください。

- ディスクへの印刷は、ディスクにデータを記録する前に行われることをおすすめします。すでにデータが記録されているディスクに印刷した場合、データ破損の補償はいたしません。
- 印刷の前に、プリンターに同梱の「推奨メディアー覧」をお読みいただき、印刷可能なディスクの種類や印刷時の注意事項についてご確認ください。
- 本書ではCW-E60を例にして説明します。
- プリンターへのインクリボンカセットのセット方法については、プリンターの取扱説明書をご参照になり正しくご使用ください。
- アルカリ電池が消耗した状態でKLD-200/300/700またはCW-70/CW-K80を使用すると、印刷中に電源がOFFになる場合があります。プリンター同梱または別売のACアダプターでお使いになることをおすすめします。
- プリンターが破損する原因となるため、シングルCD一Rや名刺サイズのCD一Rには印刷できません。印刷できるのは、直径12cm のディスクだけです。
- プリンターは平らな場所に置いて印刷してください。傾いた場所に置くと、正しく印刷できないことがあります。

重要 印刷をするときは、ディスクトレイの前に物を置かないでください(ディスクトレイ搭載プリンターの場合)。

■仕上がりのバランスを確認する

『プレビュー』画面でディスクの下の PREVIEW をクリックします。
『ディスクプレビュー拡大』画面が表示されます。

- 『プレビュー』画面および『ディスクプレビュー拡大』画面で表示されるイメージは実際の印刷と異なることがあります。

『ディスクプレビュー拡大』画面のボタン部

①表示倍率を「標準」と「拡大」、「縮小」で切り替えます。
- フリーデザイン画面の⑤(49ページ)を参照してください。

②左右の印刷エリアに文字入力が可能な機種(KLD-700/CW-100)の場合、上下のエリア／左右のエリアを切り替えます。
③左右の印刷エリアを表示しているときに、横書き／縦書きを切り替えます。
(②、③はフリーデザインを使用しているときに有効です。)
④印刷ダイアログを呼び出します。
⑤『ディスクプレビュー拡大』画面を閉じます。
- 左右の印刷エリアへの文字入力については、57ページをご覧ください。

1 パソコンとプリンターを接続します。

KLD-200、KLD-300、KLD-700、CW-K80の場合は、プリンター同梱の「はじめにお読みください」をご覧ください。その他のプリンターをお使いの場合は、お使いのプリンターの取扱説明書をご覧ください。

2 プリンターの[機能]を押し、指を離してから[USBリンク]を押します。*

プリンターの画面に「通信準備完了」と表示されていることを確認してください。

*機種によっては、[機能]を押さないで、直接[USBリンク]を押します。

- CW-100/CW-50/CW-E60をお使いの場合はこの操作は必要ありません。

3 PRINT をクリックまたは『ディスクプレビュー拡大』画面で[印刷]ボタンを押します。

画面に印刷ダイアログが表示されます。

①ディスクのセットのしかたと印刷する位置が表示されます。

②印刷を開始するときにクリックします。

③ディスクトレイが開閉します。

- KLD-200/KLD-300では使用できません。
- CW-E60/CW-K80では、ディスクトレイはありません。ただし、プリンターの故障などでディスクが取り出せなくなった場合は、「イジェクト」をクリックして、ディスクを取り出してください(もし、パソコンがロックしている場合は、パソコンを再起動してから行ってください)。「イジェクト」をクリックしてもディスクを取り出せないときは、プリンターの取扱説明書の「各部の名前とはたらき」の説明をご覧ください。
※CW-E60/CW-K80では、「イジェクト」をクリックすると、上記の動作と同時に、インクリボンの巻き取り動作が自動的に行われるため、インクリボンが無駄に消費されます。そのため、必要なとき以外は、「イジェクト」をクリックしないでください。

④1回目(上側の印刷エリア)の印刷はしないで、2回目(下側の印刷エリア)の印刷を行うときにクリックします。

- KLD-200/KLD-300/CW-E60/CW-K80では使用できません。

⑤プリンタードライバーのヘルプを表示します。

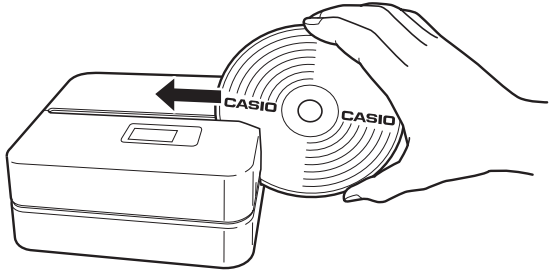
⑥印刷を中止します。

4 プリンターにディスク印刷用のインクリボンカセットがセットされていることを確認します。

- KLD-200/KLD-300ではディスク用のインクリボンカセットをセットするときは、専用のアダプターが必要です。

5 ディスクをスリットに合わせて、右から左へスライドしながらセットします。

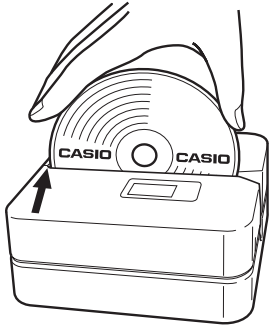
- ディスクに印刷したい部分を下にしてセットします。
- ディスクメーカーのロゴ等がディスクに印刷されている場合、印刷されている面が見えるようにディスクをセットします。



重要
- ディスクをセットするときは、無理な力を加えないでください。ディスクが破損する恐れがあります。
- ディスクに異物・ごみ等がついていないことを確認してください。ごみ等がついたままセットすると、記録面に傷がついてデータの書き込みができなくなることがあります。
- 表裏を逆にセットすると、記録面に印刷され、データの書き込みができなくなります。
- スリットにはディスク以外のものは入れないでください。

6 ディスクが止まるまで左側に押し込みます。

- 左側の奥まで確実に押し込んでください。ずれてセットすると正しく印刷できない場合があります。



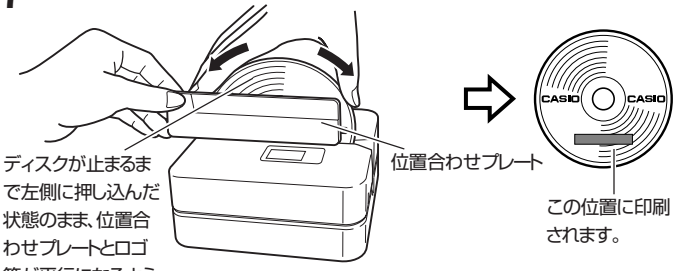
■ロゴ等、ディスク面に印刷済みの文字がある場合

ディスク面にロゴ等の印刷済みの文字がある場合は、ロゴ等の部分に印刷することはできません。「位置合わせプレート」を使用して次のように、位置合わせをしてください。

- 印刷面が無地のディスクを使用する場合、以下の手順7の操作は必要ありません。

重要
- 位置あわせプレートはディスクの位置合わせだけにご使用ください。
- ディスクの位置を合わせた後は、必ず位置合わせプレートを取り外してから印刷を開始してください。

7 位置合わせプレートを使用して、ディスクの位置を合わせます。

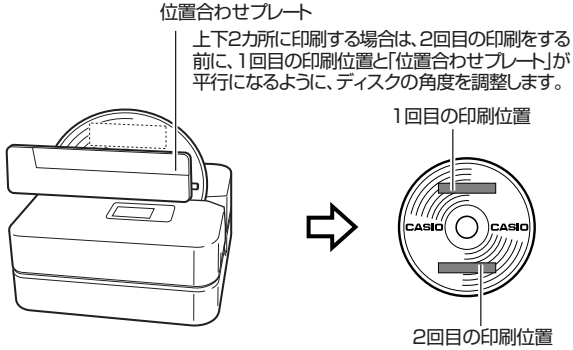


8 [印刷開始]をクリックする。

印刷が始まります。

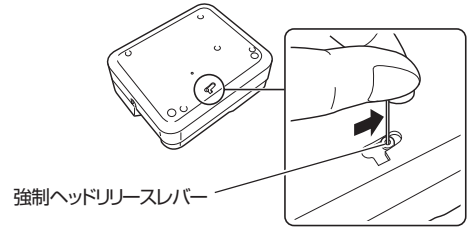
重要

- 印刷中は、絶対に、AC アダプターやUSB ケーブルをはずさないでください。
- 印刷中に、ディスクの出口付近をふさがないようにしてください。



- 印刷中に、ディスクには手を触れないでください。ディスクにキズがついたり、故障の原因になります。
- ディスクがセットされているときや、印刷中に、カセットカバーを開けないでください。ディスクにキズがついたり、故障の原因になります。
- ディスクの上下に印刷する場合は、印刷後にいったんディスクをはずし約180度回転させてから、再びディスクをセットし、[印刷開始]をクリックします。
- プリンターの故障などでディスクが取り出せなくなった場合は、「イジェクト」(18ページ)をクリックして、ディスクを取り出してください(もしパソコンがロックしている場合は、パソコンを再起動してから行ってください)。この操作を行ってもディスクが取り出せないときは、以下の操作をしてディスクを取り出してください。プリンターの故障などでディスクが取り出せなくなったとき以外は、絶対にこの操作はしないでください。

①先の細い棒*のようなものを、下のイラストの「強制ヘッドリリースレバー」の穴に差し込んで、矢印の方向に動かします。
ヘッドが印刷開始時の位置に戻り、ディスクを取り出せます。



②リリースレバーは自動的に元の位置に戻ります。

＊長さ30mm以上、太さ1.5mm以内のものをお使いください。
つまようじなど先の折れやすいものを使わないでください。故障の原因となります。

9 印刷が終了したら、ディスクを右側へスライドさせて取り出します。

データを保存する

1 **『編集』画面の をクリックします。**

または『プレビュー』画面の をクリックします。

2 **表示されたメニューから「名前を付けて保存」をクリックします。**

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

3 **「保存する場所」を指定し、「ファイル名」を入力します。**

4 **[保存]をクリックします。**

指定した場所へ「.tp2」という拡張子で保存されます。

- 作成したデータを呼び出し、編集したあと[上書き保存]を選択すると、ファイル名は変更されず、上書き保存されます。

ソフトを終了する

1 **『編集』画面の をクリックします。**

または『プレビュー』画面の をクリックします。

2 **表示されたメニューから「終了」をクリックします。**

本ソフトが終了します。

- 『編集』画面右上の をクリックしても終了できます。
- 印刷中に本ソフトを終了することはできません。印刷終了後、上記の操作をしてください。

手軽に印刷編

印刷形式を選ぶ

ディスクの内容に合わせて、印刷形式を選択できます。

- 手軽に印刷編では、特に注記のない場合は音楽用印刷形式の作りかたを例にして説明しています。

1 **『編集』画面の(ファイルアイコン)をクリックします。**

または『プレビュー』画面の FILE をクリックします。

2 **「新規」をクリックします。**

「印刷形式選択」ダイアログが表示されます。

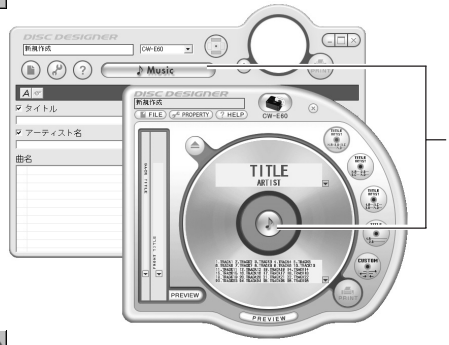
内蔵のレイアウト(定型フォーマット)から簡単に作りたいとき

文字やレイアウトを自由に決めて作りたいとき→「本格印刷編」45ページ

3 **作りたい印刷形式のアイコンをクリックします。**

- 用途に応じて5つの形式から選べます。形式ごとに『編集』画面と『プレビュー』画面が表示されます。
- ここでは、音楽用印刷形式、データ用印刷形式、デジタルカメラ用印刷形式の『編集』画面、『プレビュー』画面を図示します。
- 各『編集』画面で文字を入力して、印刷データを作成していきます。

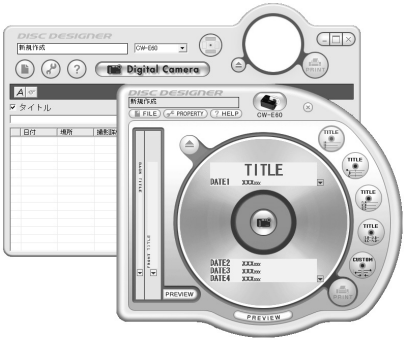
音楽用印刷形式



ここをクリックしても印刷形式を選ぶことができます。

データ用印刷形式

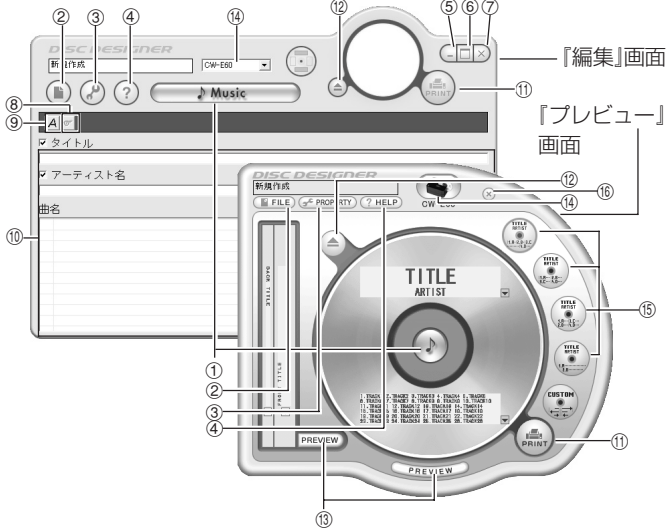
デジタルカメラ用印刷形式



画面について

『編集』画面と『プレビュー』画面に表示されるアイコンや項目と、その機能について説明します。

ここでは、音楽用印刷形式の『編集』画面と『プレビュー』画面を例にして説明します。



①	印刷形式表示	「印刷形式選択」ダイアログ（13、23ページ）で選択したパネルが表示されます。 音楽用印刷形式　フリーテキスト データ用印刷形式　フリーデザイン デジタルカメラ用印刷形式

②	[ファイル]ボタン FILE	「新規」	新しく印刷データを作成します。「印刷形式選択」ダイアログ（23ページ）が表示されます。
		「開く」	作成した印刷データを呼び出します。 以前のバージョンのソフトで作成したファイルは、「読み込み」で呼び出します。
		「上書き保存」	すでに保存してある印刷データに上書き保存されます（元の印刷データは更新されます）。 新しく印刷データを作成したときは「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。
		「名前を付けて保存」	作成した印刷データに名前を付けて保存します。
		「タイトルバー作成/ディスク印刷作成」	•印刷データ作成中に「タイトルバー作成」と表示されます。クリックすると、タイトルバー作成画面になります。 •タイトルバーデータ作成中に「ディスク印刷作成」と表示されます。クリックすると、ディスク印刷作成画面になります。（KLD-200/KLD-300/CW-E60/CW-K80ではこの機能は使用できません）
		「読み込み」	読み込むテキストデータファイルを指定する画面が表示されます。 **音楽用印刷形式の場合** •「タイトルプリンターデータを読み込む」（39ページ） •「CD-TEXTを読み込む」（32ページ） •「Windows Media Playerの曲名データを読み込む」（34ページ）

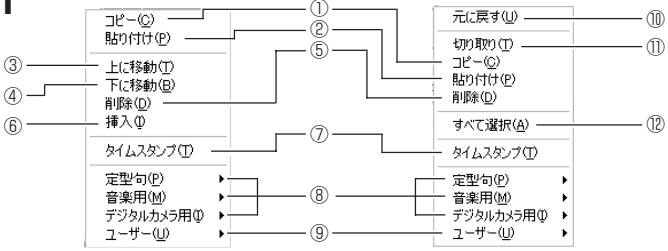
②	[ファイル]ボタン 	「読み込み」	•「iTunesの曲名データを読み込む」(35ページ) •「WinCDRの曲名データを読み込む」(37ページ) •「Easy CD Creatorの曲名データを読み込む」(36ページ) •「フォルダ/ファイル名を読み込む」(38ページ) **データ用・デジタルカメラ用印刷形式の場合** •「タイトルプリンターデータを読み込む」(39ページ) •「フォルダ/ファイル名を読み込む」(38ページ) **フリーテキスト、フリーデザインの場合** 音楽用印刷形式と同様に6つの「読み込み」メニューが選べます。
		「データ一覧ファイル作成」	印刷エリアに入りきらない大量の印刷データ情報を、一般のプリンターで印刷するためにファイル名一覧を作成します。(44ページ)
		「プレビュー拡大」	編集中の印刷データあるいはタイトルバー用データのプレビュー拡大ダイアログを表示します。
		「イジェクト」	ディスクトレイが開閉します(KLD-700/CW-100のみ。CW-70/CW-50ではディスクトレイが開きますが、ディスクを閉じることはできません。KLD-200/KLD-300ではこの機能は使用できません。CW-E60/CW-K80の場合は、18ページ手順3の③の説明をご覧ください)。

②	[ファイル]ボタン 	「印刷」	印刷ダイアログを表示します。
		「終了」	本ソフトを終了します。
		「最近使ったファイル」	過去5件までファイルの名称を表示します。 ファイル名をクリックすると、印刷データを呼び出すことができます(表示されるものは保存されたファイルに限ります)。
③	[詳細設定]ボタン 	印刷データの作成時や印刷時の詳しい設定をします。(75ページ)	
④	[ヘルプ]ボタン 	「ヘルプ」	ヘルプが表示されます。
		「カシオホームページ」	カシオホームページの「EZ-USBシリーズ」のページが表示されます。
		「バージョン情報」	本ソフトのバージョン情報が表示されます。
⑤	[最小化]ボタン 	本ソフトをメニューバーに入れます。	
⑥	最大化/元のサイズに戻す 	『編集』画面のサイズを最大化したり、元のサイズに戻したりします。	
⑦	[閉じる]ボタン 	本ソフトを終了します。	
⑧	[画像』ボタン 	画像を挿入するとき(40ページ)にクリックします。	
⑨	[フォント]ボタン 	文字の種類や形、大きさを設定します。	

⑩	[入力ボックス]	「読み込み」または手入力で直接文字を入力するウインドウです。 入力された結果はすぐに『プレビュー』画面に表示されます。 選択した印刷形式によって表示パターンが変わります。
⑪	[印刷]ボタン 	印刷を開始するときにクリックします。
⑫	[イジェクト]ボタン 	ディスクトレイを開閉します（KLD-700/CW-100のみ。CW-50/CW-70ではディスクトレイが開きますが、ディスクを閉じることはできません。KLD-200/KLD-300ではこの機能は使用できません。CW-E60/CW-K80の場合は、18ページ手順3の③の説明をご覧ください）。プリンター本体のイジェクトボタンと同じ動作をします。 • 印刷中は『イジェクト』ボタンを選択することはできません。
⑬	[PREVIEW]ボタン 	『プレビュー』画面の文字を、さらに拡大して見ることができます。 • 「プレビュー拡大」ダイアログの[印刷]から印刷することもできます。 • 元に戻すときは、[閉じる]または×をクリックします。
⑭	『プリンター選択』リスト	パソコンに接続しているプリンターの機種を指定します。
⑮	『テンプート』パネル	『プレビュー』画面に表示されている印刷データのレイアウトを変更するときにクリックします。
⑯	[閉じる]ボタン 	『プレビュー』画面を閉じます。

右クリックメニュー

1 『入力ボックス』で右クリックします。



文字を編集していないとき　　文字を編集しているとき

①	コピー	選択したデータをコピーします。
②	貼り付け	コピーしたデータを貼り付けます。
③	上に移動	選択した『入力ボックス』内の行を、一つ上に移動します。
④	下に移動	選択した『入力ボックス』内の行を、一つ下に移動します。
⑤	削除	選択した『入力ボックス』内の行または文字列を、削除します。
⑥	挿入	選択した『入力ボックス』内のカーソル位置に、新規の行を挿入します。
⑦	タイムスタンプ	日付を『入力ボックス』のカーソルの位置に挿入します。お使いのパソコンで設定されている日付が挿入されます。
⑧	定型句／音楽用／デジタルカメラ用	本ソフトにあらかじめ登録されている定型句を『入力ボックス』のカーソルの位置に表示します。音楽用／デジタルカメラ用にはそれぞれの印刷形式の定型句が登録されています。挿入したい定型句をクリックしてください。 • 定型句の詳細については、78ページをご覧ください。
⑨	ユーザー	「詳細設定」の「定型句」で定型句を登録しているとき表示されます。『入力ボックス』のカーソルの位置に挿入できます。挿入したい定型句をクリックしてください。定型句の登録について詳しくは、75ページをご覧ください。
⑩	元に戻す	１つ前の状態に戻ります。
⑪	切り取り	選択した文字を切り取ります。
⑫	すべて選択	その行の文字をすべて選択状態にします。

データを呼び出す

保存してある印刷データを開きます。レイアウトは変えずに内容だけを差し替えたいときに便利です。以前のバージョンのソフトで作成されたファイルを読み込むときは39ページをご覧ください。

1 **をクリックします。**

または『プレビュー』画面の FILE アイコンをクリックします。

2 **「開く」をクリックします。**
「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

3 **開きたいファイル名を選び、[開く]をクリックします。**
『入力ボックス』と『プレビュー』画面に選んだ印刷データが表示されます。

- 「印刷形式選択」ダイアログ(23ページ)の「ファイルを開く」アイコンからもデータを呼び出すことができます。

ドラッグ・アンド・ドロップでファイルを開くこともできます。
拡張子が「.tpu」「.tp1」「.tp2」「.tp3」のファイルアイコンをドラッグしてデスクトップ上の「DISC DESIGNER」アイコンにドロップすると、そのファイルを開くことができます。

レイアウトを設定する

印刷パターンの選択、『テンプレート』パネルの選択、カスタムテンプレートの設定で簡単にレイアウトを設定できます。
設定したレイアウトは、『プレビュー』画面ですぐに確認できます。

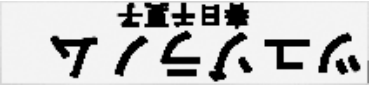
印刷パターンを設定する

印刷エリアの印刷位置や方向を選びます。

■印刷パターンの種類

登録されているパターンは上下の印刷エリアで3種類ずつです。

通　常



回　転

印刷しない

非表示

■印刷パターンを設定する

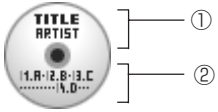
1 **印刷パターンを変えたいエリアの▼をクリックします。**

2 **印刷パターンをクリックします。**
クリックしたパターンに合わせて、『プレビュー』画面の表示が変わります。

テンプレートを設定する

印刷時の文字のレイアウトや印刷パターンを設定します。

■『テンプレート』パネルの表示について



	印刷形式	項目	表示の意味
①	音楽用	「タイトル」 「アーティスト名」	印刷エリアの中央に配置されることを表します。
	データ用	「タイトル」	
	デジタルカメラ用		
②	音楽用	「曲名」	次の意味を表します。 •入力した文字データの配置(左揃え・中央揃え・右揃え) • 1行に配置する項目数(1つまたは2つ) • 1 行に配置する項目数(複数) • 連番を付ける/付けない
	データ用	「詳細」	
	デジタルカメラ用	「日付」 「場所」 「撮影詳細」	

■テンプレートの種類

登録されているテンプレートは4種類あり、選択する印刷データの形式によってテンプレートが異なります。ここでは、音楽用印刷形式のテンプレートを示します。

①

②

③

④

■テンプレートを設定する

1 **設定したいテンプレートのアイコンをクリックします。**
クリックしたレイアウトに合わせて、『プレビュー』画面の表示が変わります。

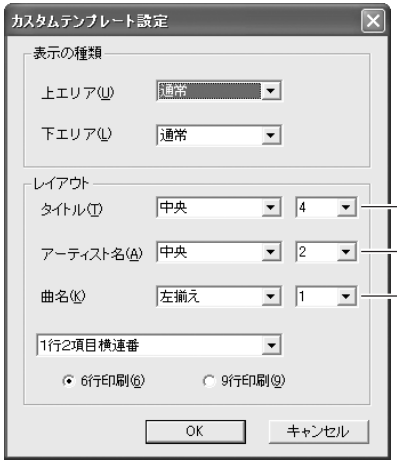
■自分でレイアウトを設定する

テンプレートをお好みに合わせて設定できます。

1

をクリックします。

「カスタムテンプレート設定」ダイアログが表示されます。



ここでフォントサイズを設定できます。

2 **それぞれの項目を設定し、[OK]をクリックします。**
選択した設定に合わせて、『プレビュー』画面が変わります。

フォントの種類、形、大きさを設定する

ここでは、フォントの種類や形、フォントサイズを設定する方法を説明します。

1
をクリックします。

「フォント設定」ダイアログが表示されます。

2 **選択タブをクリックして、設定する項目を選びます。**
- 印刷形式によって選択タブの内容は変わります。
  音楽用…「タイトル」、「アーティスト名」、「曲名」
  データ用…「タイトル」、「詳細」
  デジタルカメラ用…「タイトル」、「日付・場所」、「撮影詳細」

■フォントの種類を設定する

3 「フォントの種類」の▼をクリックします。

4 フォントを選びます。

■フォントの形を設定する

5 「フォントスタイル」で「横倍」「斜体」「太字」の中から指定したいものにチェックを入れます。

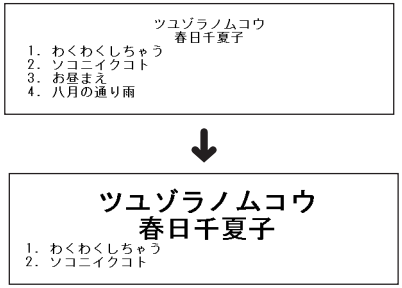
チェックをすべて外すと「標準」になります。

■フォントの大きさを設定する

6 「フォントサイズ」で印刷できる行数とフォントの大きさを選びます。

6行印刷：1つの印刷エリアに最大6行分まで文字入力ができます。
9行印刷：1つの印刷エリアに最大9行分まで文字入力ができます。

- 選んだフォントの大きさによって印刷できる行数が変わります。
  たとえば6行印刷の音楽用印刷形式の場合、タイトルを2倍(2行分)、アーティスト名を2倍(2行分)の大きさにそれぞれ指定したときは、曲名は1倍(1行分)のフォントサイズで2行まで印刷できることになります。



- フォントサイズは6行印刷の場合1～6倍、9行印刷の場合は1～9倍で選択可能です。
- 9行印刷から6行印刷に変更した場合、7倍、8倍、9倍のフォントサイズは6倍のフォントサイズになります。
- フォントサイズの指定によっては、『プレビュー』画面の上部(下部)に表示されていた内容が下部(上部)に移動します。
- お使いのプリンターがKLD-200/KLD-300/KLD-700/CW-50/CW-70/CW-E60/CW-K80のときに9行印刷を選択すると、印字が不鮮明になる場合があります。その場合は、6行印刷にして文字サイズを大きくしてお使いください。

7 設定が終了したら、[OK]をクリックします。
『プレビュー』画面に設定した内容が表示されます。

文字データを読み込んで印刷データを作る

音楽用印刷形式では、CD-TEXTの文字データやWindows Media Player、iTunes、Easy CD Creator、WinCDRで作成した曲名などのデータを読み込むことができます。
またデータ用印刷形式とデジタルカメラ用印刷形式では、フォルダ名やファイル名を読み込むことができます。
文字データを自動的に読み込むことができるので入力の手間が省けます。さらに以前のバージョンのソフトで作成したデータを、本ソフトの形式に変換して読み込むことができます。

CD-TEXTの文字データを読み込む(音楽用印刷形式)

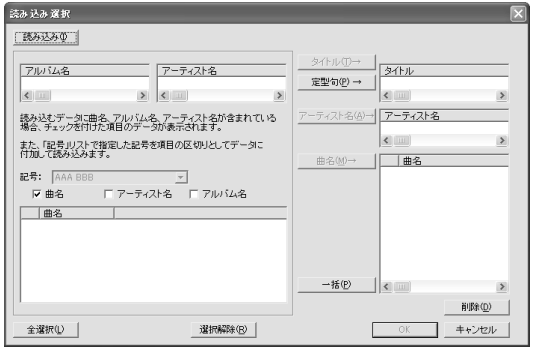
重要 ご使用のCDドライブがCD-TEXT読み込みに対応していないと、CD-TEXTを読み込むことはできません。

CD-TEXTの文字データが書き込まれているディスクを準備してください。

- CD-TEXTについて
  CD-TEXTは、タイトル、アーティスト名や曲名などの文字情報を追加した音楽CDの機能です。本ソフトでは、CD-TEXTロゴマークが印刷されているCDのCD-TEXTを読み込み、音楽用印刷を作ることができます。ただし、市販されているCDにはCD-TEXTが入っていないものが多くあります。

1 **音楽用印刷形式の『編集』画面で、 をクリックします。**
または『プレビュー』画面の FILE をクリックします。

2 **「読み込み」をクリックします。**
「読み込み選択」ダイアログが表示されます。



3 読み込み① **をクリックします。**

4 **「CD-TEXTを読み込む」をクリックします。**
「CD-TEXT読込」ダイアログが表示されます。

5 ディスクをパソコンのCDドライブにセットし、[ドライブ指定]でドライブ名を確認した後、[読込開始]をクリックします。

読み込みが完了すると「読み込み選択」ダイアログが表示されます。

①	言語	複数の言語が記録されているディスクを読み込んだ場合に、表示されます(言語1～言語8まで)。
②	アルバム名	記録されているCD-TEXTの「アルバム名」が表示されます。表示されている内容を読み込むときは、左側の「アルバム名」欄をクリックした後、[タイトル](⑦)をクリックします。
③	アーティスト名	記録されているCD-TEXTの「アーティスト名」が表示されます。表示されている内容を読み込むときは、左側の「アーティスト名」欄をクリックした後、[アーティスト名](⑧)をクリックします。
④	曲名	記録されているCD-TEXTの「曲名」が表示されます。表示されている内容を読み込むときは、左側の「曲名」欄から選択して、[曲名](⑨)をクリックします。
⑤	[全選択]ボタン	すべての曲名をチェックします。
⑥	[選択解除]ボタン	すべての曲名のチェックを外します。
⑦	[タイトル]ボタン	左側の欄から選択したテキストを右側のタイトルの欄に読み込みます。
⑧	[アーティスト名]ボタン	左側の欄から選択したテキストを右側のアーティストの欄に読み込みます。
⑨	[曲名]ボタン	左側の欄から選択したテキストを右側の曲名欄に読み込みます。
⑩	[一括]ボタン	左側の「アルバム名」欄/「アーティスト名」欄/「曲名」欄からすべてのテキストを、右側のそれぞれの欄に一括して読み込みます。
⑪	[削除]ボタン	右側のそれぞれの欄で選択した内容を削除します。
⑫	[定型句]ボタン	クリックすると、定型句リストが表示されます。リストからテキストを選択して、右側のタイトル／アーティスト名／曲名欄に入力することができます。

重要 表示される言語は、日本語、英語、韓国語、中国語です。ただし、お使いのWindowsの環境が、韓国語および中国語に対応していない場合は、正しく表示されないことがあります。

6 『入力ボックス』に表示させる曲名を確認後、[OK]をクリックします。

『入力ボックス』と『プレビュー』画面にCD-TEXTの文字データが表示されます。

重要 ディスクの種類によっては、CD-TEXTの文字データを正確に読みとれないものがあります。

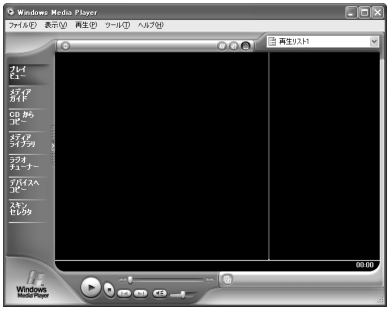
Windows Media Playerを使って書き出したテキストを読み込む(音楽用印刷形式)

- Windows Media Playerについて
  Windows Media Playerは、コンピュータ上およびインターネット上のマルチメディアを再生および整理するためのソフトウェアです。本ソフトではWindows Media Playerで作成した曲名リストを読み込むことができます。対応しているバージョンは7.0以上です。

- 本書に記載の画面は、Windows Media Player for Windows XPを例にしています。

- Windows XP以外のOSをお使いの場合は、表示される画面や操作方法が若干異なります。

1 **Windows Media Playerを起動します。**



2 **曲名情報を入手したいディスクをパソコンのCDドライブにセットします。**

3 **Windows Media Playerで曲名リストを取得(CD情報を表示)し、音楽のコピーをした後、再生リストをファイルに書き出します。**

- Windows Media Player 7.0の場合は、音楽のコピーは必要ありません。

- 音楽が完全にコピーされるまで、再生リストをファイルに書き出すことはできません。

- 再生リストは「.asx」「.wax」「.m3y」「.wvx」のうちのいずれかの形式でファイルに書き出してください。

- Windows Media Playerの詳しい操作についてはWindows Media Playerのヘルプなどをご覧ください。

4 **本ソフトを起動します。**

5 **音楽用印刷形式の『編集』画面で、をクリックします。**

または『プレビュー』画面のFILEをクリックします。

6 **表示されたメニューから「読み込み」をクリックします。**
「読み込み選択」ダイアログが表示されます。

7 読み込み(I) **をクリックします。**

8 **「Windows Media Playerの曲名データを読み込む」をクリックします。**
「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

9 **手順3で作成した曲名リストを選び、[開く(O)]をクリックします。**

読み込みが完了すると「読み込み選択」ダイアログが表示されます。

10 **33ページの手順5を参考に、読み込む内容を選択します。**

- 「記号」について
  「読み込み選択」ダイアログで、「曲名チェックボックス」をチェックしている場合に、「アーティスト名チェックボックス」／「アルバム名チェックボックス」にもチェックを付けたときは、読み込む内容に区切り記号を挿入することができます。以下の「記号」メニューから記号を選択すると、曲名とアーティスト名／アルバム名の間に選択した区切り記号が挿入されます。

例)曲名：恋するアルマジロ
アーティスト名：春日千香子
このとき、「記号」として「AAA(BBB)」を選択すると、読み込む内容は、"恋するアルマジロ(春日千香子)"になります。

- Windows Media Player で読み込んだ時の「読み込み選択」ダイアログは、Windows Media Player のバージョン等に対応した画面になります。
- アーティスト名が表示されない場合には、アーティスト名チェックボックスをチェックすると曲名欄に表示させることができる場合があります。

11 **『入力ボックス』に表示させる曲名を確認後、[OK]をクリックします。**

読み込みが完了すると『入力ボックス』と『プレビュー』画面にデータが表示されます。

iTunesを使って書き出したテキストを読み込む(音楽用印刷形式)

- iTunesについて
  iTunesは、コンピュータ上およびインターネット上のマルチメディアを再生および整理するためのソフトウェアです。本ソフトではiTunesで作成した曲名リストを読み込むことができます。対応しているバージョンは6.0.4以上です。

1 **iTunesを起動します。**

2 **曲名情報を入手したいディスクをパソコンのCDドライブにセットします。**

3 **iTunesで曲名リストを取得(CD情報を表示)し、音楽のコピーをした後、再生リストをファイルに書き出します。**

- 音楽が完全にコピーされるまで、再生リストをファイルに書き出すことはできません。
- 再生リストは「XML」の形式でファイルに書き出してください。
- iTunesの詳しい操作についてはiTunesのヘルプなどをご覧ください。

4 **本ソフトを起動します。**

5 **音楽用印刷形式の『編集』画面で、(ファイルアイコン)をクリックします。**

または『プレビュー』画面の FILE をクリックします。

6 表示されたメニューから「読み込み」をクリックします。
「読み込み選択」ダイアログが表示されます。

7 読み込み(I) をクリックします。

8 「iTunesの曲名データを読み込む」をクリックします。
「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

9 手順3で作成した曲名リストを選び、[開く(O)]をクリックします。
読み込みが完了すると「読み込み選択」ダイアログが表示されます。

10 33ページの手順5を参考に、読み込む内容を選択します。

- iTunes で読み込んだ時の「読み込み選択」ダイアログは、iTunes のバージョン等に対応した画面になります。
- アーティスト名が表示されない場合には、アーティスト名チェックボックスをチェックすると曲名欄に表示させることができる場合があります。
- 読む込む内容に、区切り記号を挿入する場合の操作については、35ページの手順10の説明をご覧ください。

11 『入力ボックス』に表示させる曲名を確認後、[OK]をクリックします。
読み込みが完了すると『入力ボックス』と『プレビュー』画面にデータが表示されます。

Easy CD Creatorを使って書き出したテキストを読み込む(音楽用印刷形式)

- Easy CD Creatorについて
  Easy CD CreatorはCD-R/CD-RWライティングソフトです。本ソフトではEasy CD Creatorで作成した「Easy CD Creatorの保存形式のプロジェクトリスト(以下、曲名リストと記述します)」を読み込むことができます。対応しているバージョンは4.0と5.0です。

重要
- 開くことのできるファイルは「音楽CD」で作成したプロジェクトリストのみです。
- パソコンのハードディスクからトラックにオーディオファイルを追加して作成したプロジェクトファイルは、読み込むことができません。

1 Easy CD Creatorを起動します。

2 曲名情報を入手したいディスクをパソコンのCDドライブにセットします。

3 Easy CD Creatorで曲名リストを取得し、保存します。

- Easy CD Creatorの詳しい操作についてはEasy CD Creatorの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

4 本ソフトを起動します。

5 音楽用印刷の『編集』画面で、 をクリックします。
または『プレビュー』画面の FILE をクリックします。

6 **「読み込み」をクリックします。**
「読み込み選択」ダイアログが表示されます。

7 読み込み① **をクリックします。**

8 **「Easy CD Creatorの曲名データを読み込む」をクリックします。**
「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

9 **手順3で作成した曲名リストを選び、［開く］をクリックします。**
読み込みが完了すると「読み込み選択」ダイアログが表示されます。

10 **33ページの手順5を参考に、読み込む内容を選択します。**

11 **『入力ボックス』に表示させる曲名を確認後、［OK］をクリックします。**
読み込みが完了すると『入力ボックス』と『プレビュー』画面にデータが表示されます。

WinCDR用に作成した曲名ファイルを読み込む（音楽用印刷形式）

• WinCDRについて
WinCDRはCD-R/CD-RW等のライティングソフトです。本ソフトではWinCDRで作成した曲名リストを読み込むことができます。対応しているバージョンは5.0以降です。

1 **WinCDRが指定する方法にしたがって、曲名ファイルを作成します。**
• WinCDRの詳しい操作についてはWinCDRの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。
• WinCDRの設定を「CD TEXTを書き込む」にして音楽CDを作成すると、曲名ファイルが自動的に作成されます。曲名ファイルは、通常WinCDRをインストールしたフォルダ内の「ImageTemp」フォルダに「cdtext.txt」というファイル名で保存されます。

2 **本ソフトを起動します。**

3 **音楽用印刷の『編集』画面で、** **をクリックします。**
または『プレビュー』画面で、 FILE をクリックします。

4 **「読み込み」をクリックします。**
「読み込み選択」ダイアログが表示されます。

5 読み込み① **をクリックします。**

6 **「WinCDRの曲名データを読み込む」をクリックします。**
「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

7 **手順1で作成した曲名を選び、[開く]をクリックします。**
読み込みが完了すると、「読み込み選択」ダイアログが表示されます。

8 **33ページの手順5を参考に、読み込む内容を選択します。**

9 **『入力ボックス』に表示させる曲名を確認後、[OK]をクリックします。**
読み込みが完了すると『入力ボックス』と『プレビュー』画面にデータが表示されます。

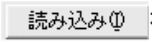
フォルダ名やファイル名を読み込む(音楽用、データ用、デジタルカメラ用印刷形式)

フォルダ名やファイル名を読み込み、入力の手間を省くことができます(音楽用、データ用、デジタルカメラ用印刷形式すべて)。

1 **各『編集』画面で、 をクリックします。**

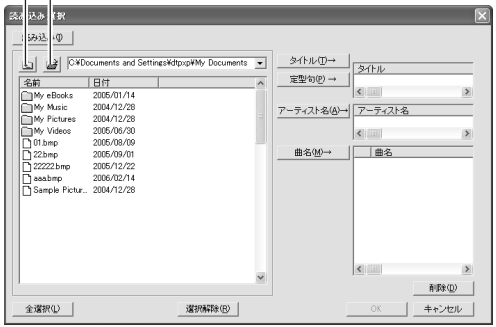
または『プレビュー』画面で、 をクリックします。

2 **表示されたメニューから「読み込み」をクリックします。**
「読み込み選択」ダイアログが表示されます。

3  **をクリックします。**

4 **「フォルダ/ファイル名を読み込む」をクリックします。**

一つ上の階層のフォルダに移動します
「フォルダ名選択」ダイアログが表示され、直接フォルダを指定できます。



5 **33ページの手順5を参考に、読み込む内容を選択します。**

- フォルダ名を読み込むときは、左側のフォルダのアイコンを選択します。
- ファイル名を読み込むときは、左側のファイルのアイコンを選択します。

6 **読み込みたいフォルダ名やファイル名を確認後、[OK]をクリックします。**

読み込みが成功すると、『入力ボックス』と『プレビュー』画面にフォルダ名やファイル名が表示されます。

以前のバージョンのソフトで作成したデータを読み込む

以前のバージョンのCD-R TITLE PRINTERアプリケーションやDISC TITLE PRINTERアプリケーションで作成したデータのうち、「.ctp」「.ctw」「.cte」「.cdm」の拡張子のついたデータを本ソフト用に変換します。

1 **『編集』画面で をクリックします。**

または『プレビュー』画面で FILE をクリックします。

2 **「読み込み」をクリックします。**

「読み込み選択」ダイアログが表示されます。

3 読み込み① **をクリックします。**

4 **「タイトルプリンターデータを読み込む」をクリックします。**

重要 データを読み込むにあたっての条件を記載した注意書きが表示されます。よくお読みになったあと、次の操作にお進みください。注意書きを表示しないように設定したとき(76ページ)は、ここで「ファイルを開く」ダイアログが表示されますので、5で[次へ]をクリックする必要はありません。

5 **[次へ]をクリックします。**

「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

6 **読み込みたいデータのファイル名を選び、[開く]をクリックします。**

本ソフト用に変換されたデータが『編集』画面に表示されます。

重要 以前のバージョンのソフトで作成したフリーテキストのデータは、フリーデザインのデータとして読み込みます。
フリーデザインのデータとして読み込まれたデータは文字のサイズが元のデータとは異なりますので、修正してご使用ください。

画像を挿入する

画像を挿入する方法は、次の2つがあります。
- ファイルを選択して画像を挿入する
- パソコンの画面を取り込む(キャプチャー)

- 「カスタムテンプレート設定」ダイアログ(30ページ)の表示の種類で画像を表示する種類(「画像1通常」など)を選ぶ必要があります。
- 元の画像がカラーの場合でも、「モノクロ化」の設定に従って1色で印刷されます。詳しくは43ページをご覧ください。
- 実際の印刷イメージは PREVIEW をクリックして確認してください。
- 『編集』画面で をクリックし、プルダウンメニューから「画像設定」をクリックすると「画像設定」ダイアログを表示させることができます。

ファイルを選択して画像を挿入する

「BMP」「JPEG」ファイル形式の画像が挿入できます。

1 **『編集』画面で をクリックします。**
プルダウンメニューが表示されます。

2 **「画像を開く」をクリックします。**
「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。
- 「カスタムテンプレート設定」ダイアログで画像1、画像2ともに選んだときは、「画像1」もしくは「画像2」をクリックします。
- 画像集に登録されている画像をご使用いただくこともできます。(44ページ)

3 **挿入する画像のファイル名を指定し、[開く]をクリックします。**
『プレビュー』画面に、画像がモノクロで表示され、さらに「画像設定」ダイアログが表示されます。
- 画像のモノクロ化の方法を設定するときは、43ページをご覧ください。

4 **画像を確認後、[OK]をクリックします。**

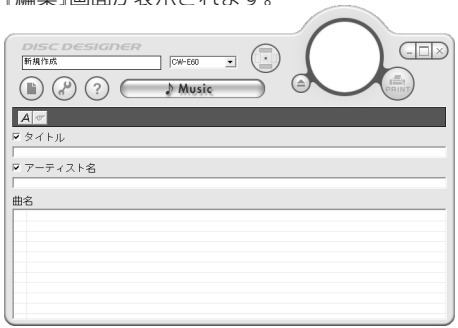
パソコンの画面を取り込む(キャプチャー)

パソコンに表示されている画面を取り込んで、画像データとして利用することができます。

1 **をクリックします。**
DISC DESIGNERが最小化されます。

2 **取り込みたい画面を表示します。**

3 **Windowsのタスクバーの「DISC DESIGNER」をクリックします。**
『編集』画面が表示されます。



4 **『編集』画面で をクリックします。**
プルダウンメニューが表示されます

5 **「キャプチャー」をクリックします。**
『編集』画面が最小化されます。
- 「カスタムテンプレート設定」ダイアログで画像1、画像2ともに選んだときは、「画像1」もしくは「画像2」をクリックします。
- キャプチャーを取り消すときは、パソコンの[Esc]キーを押す、または右クリックします。

6 **取り込みたい範囲の左上から右下までドラッグします。**

ドラッグした範囲が四角で囲まれます。

レイアウトサイズに相当する範囲が、ガイドラインとして表示されます。

「画像設定」ダイアログが表示されます。

ドラッグした範囲が、「画像設定」ダイアログのプレビュー画面中央にカラーで表示されます。

7 **画像を確認後、[OK]をクリックします。**

『プレビュー』画面に画像がモノクロで表示されます。

- 画像のモノクロ化の方法を設定するときは、43ページをご覧ください。

■キャプチャーした画面をパソコンに保存する

1 **キャプチャーした画面を「画像設定」ダイアログのプレビュー画面に表示させた状態で、[保存する]をクリックします。**

「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

- 『編集』画面で をクリックし、プルダウンメニューから「画像設定」をクリックすると「画像設定」ダイアログを表示させることができます。

2 **「保存する場所」を指定し、「ファイル名」を入力します。**

3 **[保存]をクリックします。**

4 **[OK]をクリックします。**

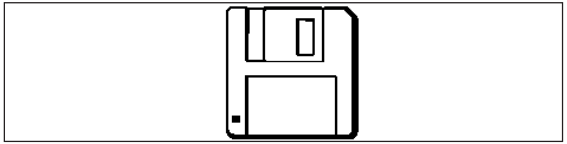
キャプチャーした画像は、モノクロ化された画像ではなく、元のカラー画像のBMP形式で保存されます。

画像の縦横比・位置を設定する

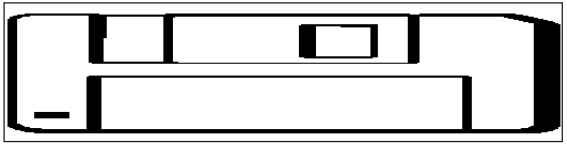
画像の縦横比を固定して印刷するかどうかや、挿入する位置を設定できます。

1 **挿入する画像を「画像設定」ダイアログのプレビュー画面に表示させます。**

画像の縦横比：
チェックしたとき（縦横比固定）…挿入する画像の縦横比を固定したまま、印刷エリアに合わせて最大に印刷されるように拡大/縮小されます。



チェックしなかったとき（縦横比非固定）…挿入する画像の縦横比に関係なく、印刷エリアいっぱいに拡大/縮小されます。



画像位置設定：
印刷エリアのどの位置に挿入するか設定できます。
- 「縦横比を固定する」にチェックしたときのみ設定できます。

2 **[OK]をクリックします。**
設定した結果が『プレビュー』画面に表示されます。

- 実際の印刷イメージは、PREVIEWをクリックして確認してください。

カラー画像のモノクロ化について

カラーの画像データを挿入するとデータはモノクロ(1色)になり、カラーはモノクロの濃淡で表現されます。

1 挿入する画像を、「画像設定」ダイアログのプレビュー画面に表示させた状態で、「モノクロ化」の▼をクリックします。

2 「パターン」、「誤差拡散」、「単純2値」を選び、[OK]をクリックします。

設定した結果が『印刷プレビュー』画面に表示されます。

- [詳細設定]をクリックすると、「パターン」「誤差拡散」「単純2値」の「白」と「黒」の割合を、スライダーを左右に動かして変更することができます。
  スライダーが左に行くほど画像は白く、右に行くほど黒く印刷されます。

「パターン」、「誤差拡散」、「単純2値」の違いについて

「パターン」と「誤差拡散」はどちらもカラー写真をコピーしたときのように、濃い色は黒っぽく、薄い色は白っぽく印刷されます。
「パターン」に比べ「誤差拡散」のほうが、処理には時間がかかりますが、より美しい印刷結果となります。
「単純2値」は、「白」と「黒」の2色で印刷されます。

パターン

誤差拡散

単純2値

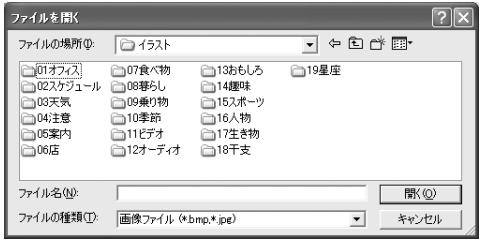
画像集を使う

本ソフトには、画像を挿入した印刷データを作成するときに、ご利用いただけるイラストやスタンプの画像データ(BMP形式)を「画像集」として用意しています。
ここでは、「画像集」の使いかたについて説明します。画像を挿入する方法については、「画像を挿入する」(40ページ)を参照してください。

- 「画像集」は操作の前にインストールする必要があります。インストールについては、お使いのプリンターの取扱説明書をご覧ください。

1 **『編集』画面の をクリックし、メニューから「画像を開く」をクリックします。**
「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。

2 **「ファイルの場所」で「Program Files」→「CASIO」→「ラベル用画像集」とフォルダを選びます。**
「イラスト」フォルダと「スタンプ」フォルダが表示されます。
「イラスト」フォルダの下には、さらに次のように「01オフィス」から「19星座」までの19のフォルダがあります。



3 **フォルダの下にある画像から、好きな画像を選び、[開く]をクリックします。**
「画像設定」ダイアログのプレビュー画面に、選んだ画像が表示されます。

- Windows XP/2000 Professional/Meで画像を選択するときは、「ファイルを開く」ダイアログの右上にある「表示」メニューで画像を表示できるメニューを選ぶと画像が選択しやすくなります。

データー覧ファイルを作成する

印刷エリアに入りきらない大量のフォルダ／ファイル名の印刷データ情報を、一般のプリンターで印刷するためのファイル名一覧ファイルを作成・保存します。

1 **『編集』画面で をクリックします。**
または『プレビュー』画面で FILE をクリックします。

2 **「データー覧ファイル作成」をクリックします。**
「フォルダ選択」ダイアログが表示されます。

3 **ファイル名一覧を作成するフォルダを選び、[OK]をクリックします。**
「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

4 **「保存する場所」「ファイルの種類」を指定し、「ファイル名」を入力します。**
保存形式はCSV形式、TXT形式が選べます。

5 **[保存]をクリックします。**
データー覧ファイルが作成されます。

- 作成したファイルは、他のワープロソフトや表計算ソフトなどに読み込んで、印刷することができます。

本格印刷編

文字やレイアウトを自由に決めて作る（フリーデザイン・フリーテキスト）

本格作成編では**フリーデザイン・フリーテキスト**(以下両方を指す場合はフリー形式と表記します)の説明をしています。
本格作成編では特に注記がない限りはフリーデザインを例として説明します。
基本的な操作のしかたは『簡単印刷編』の該当箇所をご覧ください。

テキストも画像も一緒にデザインしたいときは

フリーデザイン

●文字や画像を、フィールドと呼ばれるパーツとして扱います。テキストの入力や編集、画像の読み込みから配置までこの画面上で行えます。
●フリーテキストよりもさらに凝った印刷データが作れます。

自由にテキストを入力・編集したいときは

フリーテキスト

●ワープロを使うようにテキストを編集できます。フォントの種類や大きさも自由に変更できます。

フリー形式共通

●CD-TEXT、Windows Media Player、iTunes、Easy CD Creator、Win CDRの曲名ファイルや、フォルダ名/ファイル名の読み込みができます。(32ページ～38ページ)
●以前のバージョンのソフトで作成したデータを読み込むことができます。(39ページ)
●フォントの種類や大きさを変えるなど、テキストの編集はツールバーから行います。

フリーデザインについて

ここでは「フリーデザイン」の特長と作成の流れについて説明します。

フリーデザインとは？

フリーデザインでは、文字や画像を「フィールド」と呼ばれるかたまりで自由に拡大・縮小・配置して、より自由度の高いレイアウトで作ることができます。

- フィールドは、上下のエリアで40フィールドまで、左右のエリア（KLD-700/CW-100のみ）で40フィールドまで作成できます。合計で80フィールドまで作成できます。

画面のように文字や画像を挿入して、下のような印刷ができます。

作成の流れ

フリーデザインで印刷データを作成・印刷・保存・終了するまでの流れは次のようになります。

印刷形式を選ぶ（「印刷形式選択」ダイアログ→23ページ）

「フリーデザイン」

「フリーテキスト」（63ページ）

登録してある印刷データを呼び出す（28ページ）

印刷データを作る

- **■ 文字フィールドを作る（53ページ）**
  - 文字を入れる・編集する（53ページ）
  - フォントやサイズを設定する（55ページ）
- **■ 画像フィールドを作る（56ページ）**
  - 画像を挿入する（56ページ）
- **■ 図形フィールドを作る（57ページ）**
  - 図形を挿入する（57ページ）

さらにこのようなことができます。

- **■ 自分で作ったレイアウトを使う（62ページ）**
- **■ 左右の印刷エリアに入力する（57ページ）**

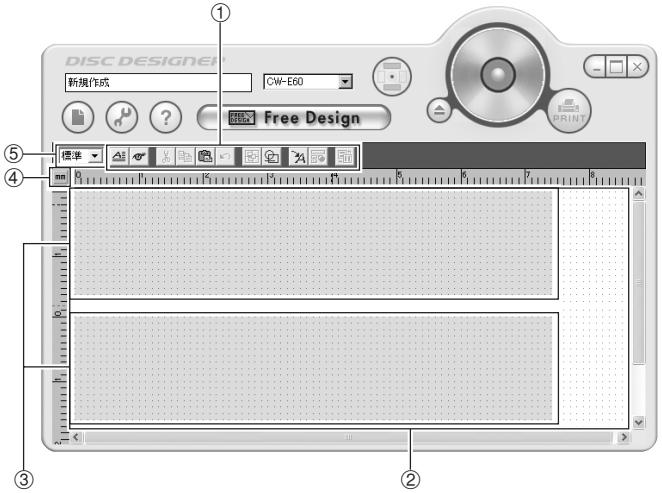
印刷する（17ページ）・保存する（21ページ）

終了する（21ページ）

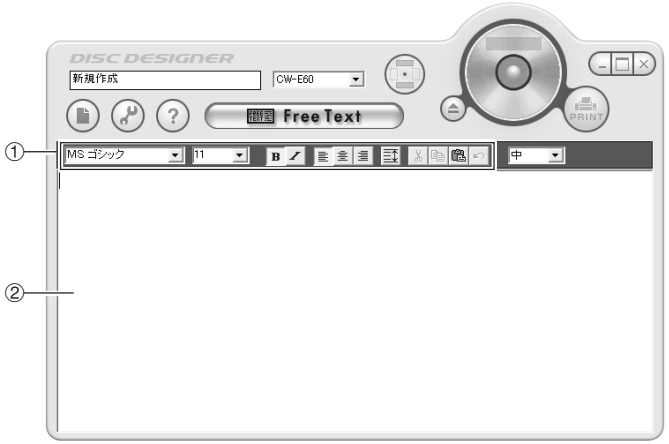
フリー形式の画面について

フリーデザインとフリーテキストの画面について説明します。

フリーデザインの画面について

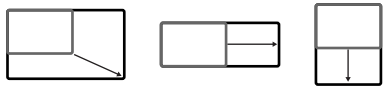


フリーテキストの画面について



■編集エリアのサイズ変更について

編集エリアは図のように拡大して使うことができます。



- テキストなどを編集中に編集エリアのサイズを変更すると編集が解除されます。

各項目の説明

① ツールバー	編集に便利な各種ツールを一つのバーにまとめました。 アイコンをクリックすると、それぞれの機能に合わせて設定ができます。詳しくは右の「ツールバーについて」をご覧ください。	
② 編集エリア	文字を入力したり画像の挿入ができる領域です。	
③ 印刷範囲	編集エリアの中で実際に印刷される範囲を示しています。印刷範囲間をドラッグで移動できます。 印刷範囲外にある文字や画像は、印刷されません。	
④ 『単位』ボタン	ルーラーの表示単位を示します。 クリックするたびに、mm(ミリ)、Pel(ピクセル)、inch(インチ)と切り替わります。	
⑤ 『ズーム』ボックス	編集エリアの表示倍率を切り替えます。	
	「標準」	印刷範囲を100%の大きさで表示します(表示上の1ドットが、印刷の1ドット相当の大きさになります)。
	「縮小」	印刷範囲を約62.5%の大きさで表示します(印刷エリアの横方向が、画面内に収まる大きさになります)。*
	「拡大」	印刷範囲を約150 %の大きさで表示します。*

*「縮小」を使用できるのは次の機種です。CW-100
「拡大」を使用できるのは次の機種です。KLD-200、KLD-300、KLD-700、CW-50 、CW-70、CW-E60、CW-K80

ツールバーについて

■フリーデザイン

①	『テキスト挿入』ボタン	文字フィールドを挿入します。(53ページ)	
②	『画像』ボタン	画像フィールドを挿入します。(56ページ)	
③	編集	選択した文字やフィールド(52ページ)を、コピーしたり貼り付けたりします。	
④	『配置／プロパティ』ボタン	フィールドの配置(59ページ)の調整やプロパティ(61ページ)の調整をします。	
		[整列]	基準フィールドをもとに配置する。
		－左揃え	選択されたフィールドをそれぞれの方向に揃えて配置する。
		－右揃え	
		－上揃え	
		－下揃え	
		－左右中央揃え	選択されたフィールドを垂直方向の中心線に位置合わせして配置する。
		－上下中央揃え	選択されたフィールドを水平方向の中心線に位置合わせして配置する。
		[均等配置]	3つ以上選択されたフィールドを垂直方向(縦均等)、水平方向(横均等)に等間隔に配置する。
		－縦均等	
		－横均等	
		[中央配置]	選択されたフィールドを印刷エリア内の垂直方向(上下中央)、水平方向(左右中央)にセンタリングする。
		－上下中央	
		－左右中央	

④	[配置／プロパティ]ボタン	[順序]	
		－最前面へ移動	選択されたフィールドを前や後ろに移動する。
		－最背面へ移動	
		－前面へ移動	
		－背面へ移動	
		[サイズ揃え]	
		－幅	選択されたフィールドの幅や高さを同じにする。
		－高さ	
		－幅と高さ	
		[その他]	
		－左に移動 －中心に移動 －右に移動 －上に移動 －下に移動	選択されたフィールドを印刷エリアの上下左右に移動する。
		－最大化する	印刷エリアいっぱいにフィールドを拡大する。
		－縦横固定最大化＆中心	選択されたフィールドを縦横比を固定したままで拡大し、印刷エリアの中心に移動する。
⑤	[図形]ボタン	四角形、楕円を作成し挿入します。(57ページ)	
⑥	[簡易テキスト入力]ボタン	各文字フィールドのテキストを一括して入力します。	
⑦	[テンプレート編集]ボタン	作成したレイアウトをテンプレートとして登録します。(62ページ)	
⑧	[エリア表示切替]ボタン	左右の印刷エリアに印刷するときに編集エリアを縦/横に切り替えます。*(58ページ)	

*KLD-700/CW-100で使用できます。

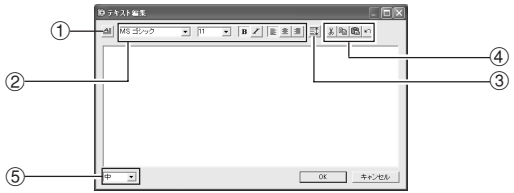
■フリーテキスト

①	フォント設定	文字のフォントやサイズなどを設定します。 •設定したフォントサイズは、プリンターで印刷するときと同じサイズで、編集エリアに表示されます。
②	[行間設定]ボタン	行と行の間隔を設定します。(55ページ)
③	編集	選択した文字を、コピーしたり貼り付けたりします。
④	表示サイズ指定	テキスト編集する文字の表示倍率を設定します。

重要 フォントの種類と大きさによっては印刷の際に文字がつぶれてしまうことがありますので、ご注意ください。

■テキスト編集画面(フリーデザインのみ)

フリーデザインの「テキスト挿入」ボタン(49ページ)をクリックして、『テキスト編集』画面を表示します。

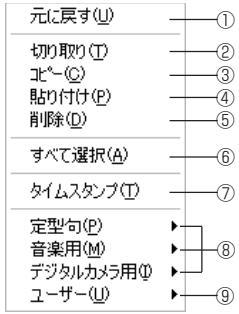


①	[テキスト挿入]ボタン	文字フィールドを挿入します。(53ページ)
②	フォント設定	文字のフォントやサイズなどを設定します。
③	[行間設定]ボタン	行と行の間隔を設定します。(55ページ)
④	編集	選択した文字やフィールド(52ページ)を、コピーしたり貼り付けたりします。
⑤	表示サイズ指定	テキスト編集する文字の表示倍率を設定します。

右クリックメニュー

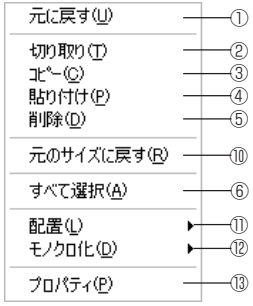
カーソルを編集エリアやフィールドに置き右クリックすると、次のようなメニューが表示されます。

■フリーテキストの編集エリアまたはフリーデザインのテキスト編集画面



■フリーデザインでフィールドを選択していないとき

■フリーデザインでフィールドを選択しているとき



①	元に戻す	1つ前の編集状態に戻します。
②	切り取り	選択したフィールドを、クリップボードにコピーしたのち削除します。
③	コピー	選択したフィールドをクリップボードにコピーします。
④	貼り付け	クリップボードの内容を、編集エリアに挿入します。
⑤	削除	選択した文字またはフィールドを削除します。
⑥	すべて選択	編集中の文字またはフィールドをすべて選択します。
⑦	タイムスタンプ	日付をカーソルの位置に挿入します。 お使いのパソコンで設定されている日付が挿入されます。
⑧	定型句／音楽用／デジタルカメラ用	本ソフトにあらかじめ登録されている定型句をカーソルの位置に表示します。音楽用／デジタルカメラ用にはそれぞれの印刷形式の定型句が登録されています。挿入したい定型句をクリックしてください。 •定型句の詳細については、78ページをご覧ください。
⑨	ユーザー	「詳細設定」の「定型句」で定型句を登録しているとき表示されます。定型句はカーソルの位置に挿入できます。挿入したい定型句をクリックしてください。定型句の登録について詳しくは、75ページをご覧ください。
⑩	元のサイズに戻す (画像フィールドのみ)	フィールドのサイズを、画像読み取り時のサイズに戻します。
⑪	配置	フィールドの位置を整列させたり、順序を変更したりします。 •フィールドを配置する方法については、49、59ページをご覧ください。

⑫	モノクロ化 (画像フィールドのみ)	選択しているフィールドの画像を、モノクロ(白黒)の画像に変換します。 変換方式として「パターン」「誤差拡散」「単純2値」(43ページ)のいずれかを選択することができます。
⑬	プロパティ	選択しているフィールドのプロパティを表示します。 また「位置」、「サイズ」、「モノクロ化」(画像フィールドの時のみ)を設定することができます。 •フィールドのプロパティについては、61ページをご覧ください。

フィールドについて

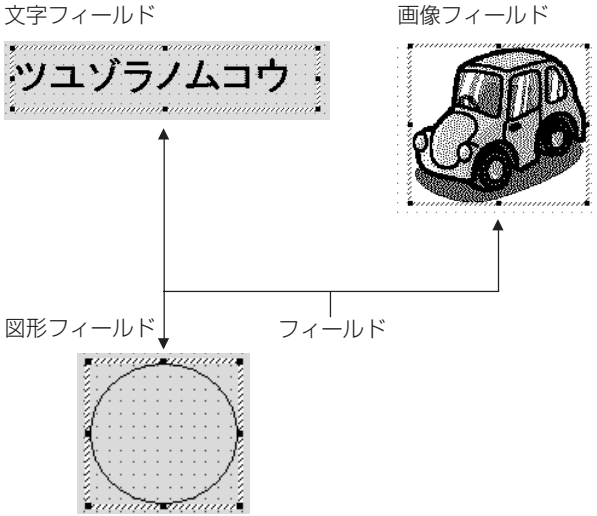
ここでは各フィールドの特長と共通の操作について説明します。

フィールドの種類

文字、画像、図形を挿入すると、それらは「文字フィールド」「画像フィールド」「図形フィールド」に囲まれて編集エリアに挿入されます。

- **文字フィールド**：入力した文字を囲むフィールドです。(53ページ)
- **画像フィールド**：画像を囲むフィールドです。(56ページ)
- **図形フィールド**：図形を囲むフィールドです。(57ページ)

フィールドは選択すると下記のような薄いグレーの枠で表現されます。
この枠は実際には印刷されません。
この枠が表示されているときは移動や削除といった変更が可能です。



■フィールドの選択のしかた

文字フィールド：フィールドの枠をクリックしてください。

フィールド枠に近づけるとポインタの形状が変わります。

画像フィールド：フィールド内をクリックしてください。
図形フィールド：フィールド内をクリックしてください。

共通の操作

文字フィールド・画像フィールド・図形フィールド共通の操作について説明します。

■フィールドの移動

フィールドを選択したままドラッグします。

- さらに位置を細かく設定する場合は、キーボードのカーソルキーを押すと、1ドットずつ移動できます。

■フィールドの削除

フィールドを選択してから、[Delete]キーを押します。

選択されたフィールドが編集エリアから消えます。

文字を入力する

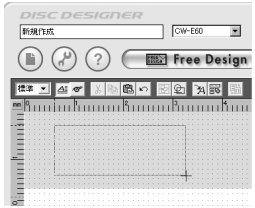
文字の入力と削除のしかたを説明します。

編集エリアに文字を入力する

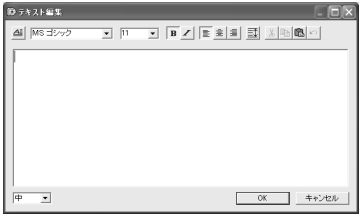
■パソコンのキーボードから入力する

1 **をクリックします。**

2 **編集エリアにカーソルを移動し、ドラッグ・アンド・ドロップで文字フィールドの範囲を決めます。**



『テキスト編集』画面が表示されます。



3 **文字を入力します。**

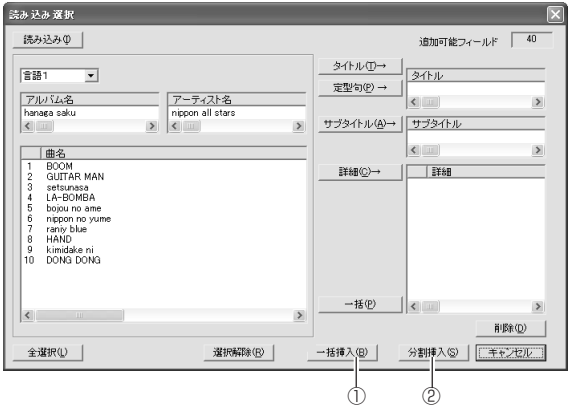
- 文字データの編集は、「入力したテキストを編集する」(55ページ)をご覧ください。
- すでに文字が入力されている文字フィールドのテキストを再編集するときは、文字フィールドをダブルクリックします。

■文字データを読み込んでテキストを入力する

CD-TEXT、Windows Media Player、iTunes、Easy CD CreatorおよびWinCDRの曲名ファイル、またはファイル名やフォルダ名を読み込んで、テキストを入力するときの説明をします。
以前のバージョンのソフトで作成した印刷データを読み込むときは39ページをご覧ください。

ここでは例として、CD-TEXTの文字データを読み込みます。

1 **32ページ「文字データを読み込んで印刷データを作る」を参考にしながら、CD-TEXTの文字データを読み込みます。**
「読み込み選択」ダイアログが表示されます。



①[一括挿入]：選択した項目すべてが1つのフィールドになります。
②[分割挿入]：選択したタイトル・アーティスト名・曲名が別々のフィールドになります。

2 **[一括挿入]または[分割挿入]をクリックします。**
- 編集エリアと『プレビュー』画面に文字データが表示されます。
- 文字データの編集は、「入力したテキストを編集する」(55ページ)をご覧ください。
- ファイル名やフォルダ名を読み込んだときは[OK]をクリックします。
- ファイル名やフォルダ名を読み込んだときは、1項目1フィールドになります。

文字フィールドを削除する

1 **削除したい文字フィールドを選択します。**

2 **[Delete]キーを押します。**
文字フィールドが削除されます。

入力したテキストを編集する

編集エリアに入力したテキストを編集する方法について説明します。

フォントの種類・大きさ・形を設定する

フリーデザインでは『テキスト編集』画面から、フリーテキストは「ツールバー」から設定できます。

テキストを編集するときに使用するツールボタン

[例]フォントの種類を変更する

1 **テキスト編集画面で文字を入力します。**

2 **変更したい文字を反転させます。**

3

の▼をクリックして、フォントを選びます。

- フォントの大きさ・形を設定するときも同様に操作します。
- 文字列の配置を設定するときは、設定したい行にカーソルを移動させ、のいずれかをクリックします。

行と行の間隔を設定する

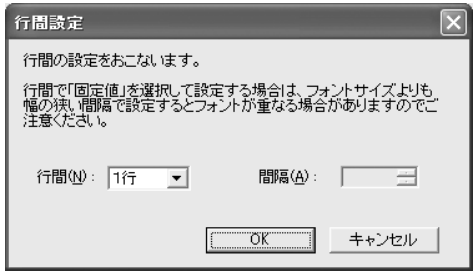
編集エリアに入力したテキストが2行以上の場合、行と行の間隔を設定することができます。
フリーデザインでは『テキスト編集』画面から、フリーテキストは「ツールバー」から設定できます。

1 **テキスト編集画面でテキストを入力します。**

2 **間隔を設定したい行を反転させます。**

3 **をクリックします。**

「行間設定」ダイアログが表示されます。



行間：選択した行と行の間隔を「1行」「1.5行」「最小値」「固定値」から選択します。

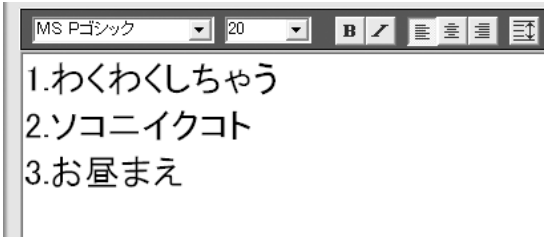
間隔：「行間」で「最小値」または「固定値」を選択した場合、数値を1ポイント単位で入力することができます。
「最小値」を指定したときは、その行のなかで一番大きい文字が収まる間隔に、指定したポイント数を加えた間隔が行間になります。「固定値」を指定したときは、行の間隔の実際の値をポイント数で指定できます。

4 **設定内容を確認し、[OK]をクリックします。**
設定した内容で行間が変更されます。

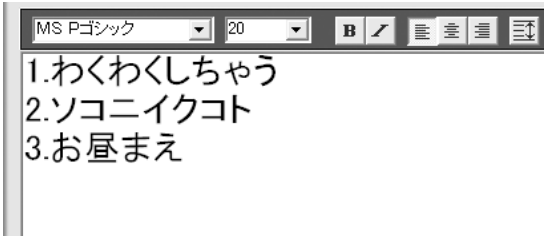
■固定値の設定について

固定値は行と行の間隔をフォントのサイズに関係なく調節できます。

（元のテキスト）



- 行間を「固定値」、間隔の値を「２２」にした場合行間がほどよくつまった状態になります。



- 「固定値」を設定する場合は、間隔には文字のフォントサイズよりも大きいサイズを設定してください。文字のフォントサイズよりも小さい値を設定すると文字が重なる場合があります。

画像を挿入する

画像の挿入と削除のしかたを説明します。

画像を挿入する

1 **をクリックします。**

2 **「画像を開く」または「キャプチャー」をクリックし、挿入する画像を設定し、[OK]をクリックします。**

- 画像の挿入のしかたについては、「画像を挿入する」(40ページ)をご覧ください。

画像1を選ぶと、上側の印刷エリアの中央に画像フィールドが挿入されます。
画像2を選ぶと、下側の印刷エリアの中央に画像フィールドが挿入されます。

- 画像が印刷範囲よりも大きい場合は、縦横比固定のまま、印刷範囲内に入るよう縮小されます。

画像を削除する

1 **削除したい画像フィールドを選択します。**

2 **[Delete]キーを押します。**
選択された画像フィールドが編集エリアから削除されます。

図形を挿入する

四角形や楕円などの図形の挿入と削除のしかたを説明します。

図形を挿入する

1 **をクリックします。**

2 **表示されたメニューから図形を選択します。**
カーソルが+になり、図形を作れる状態になります。

■図形の作りかた

- **編集エリア内でドラッグ**
  選択した図形を作成します。
- **編集エリア内で[Shift]キーを押しながらドラッグ**
  正方形または正円を作成します。
- **編集エリア内で[Ctrl]キーを押しながらドラッグ**
  はじめにカーソルを置いた場所を中心として、選択した図形を作成します。
- **編集エリア内で[Shift]キーと[Ctrl]キーを押しながらドラッグ**
  はじめにカーソルを置いた場所を中心として、正方形・正円を作成します。

※ドラッグした距離に合わせて、図形の大きさは決まります。

図形を削除する

1 **削除したい図形フィールドを選択します。**

2 **[Delete]キーを押します。**
選択された図形フィールドが編集エリアから削除されます。

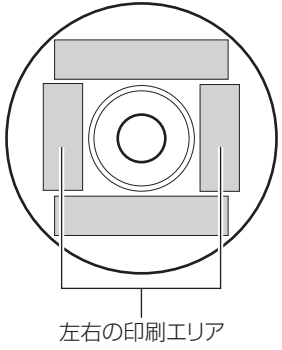
左右の印刷エリアに入力する

お使いのプリンターがKLD-700またはCW-100のときは、ディスクの上下のエリアだけではなく左右のエリアにも入力し、印刷することができます。（フリーデザイン時のみ）

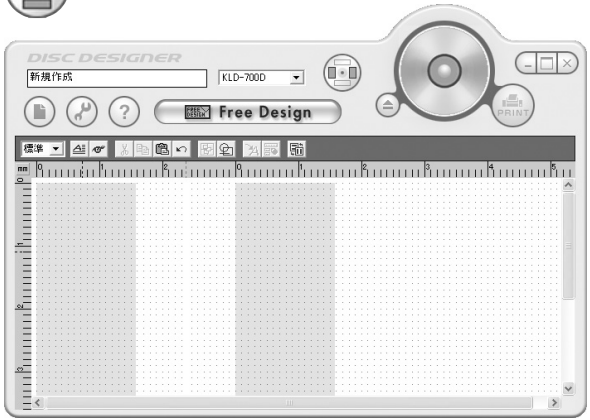
重要

- お使いのプリンターがKLD-200/KLD-300/CW-50/CW-70/CW-E60/CW-K80のときは、この機能を使うことはできません。
- 左右の印刷エリアは縦書きと横書きを選択できます。
- 印刷エリアにロゴ等が印刷されているディスクには印刷することができません。印刷の前に「印刷する」（17ページ）をご参照ください。

印刷できるエリア



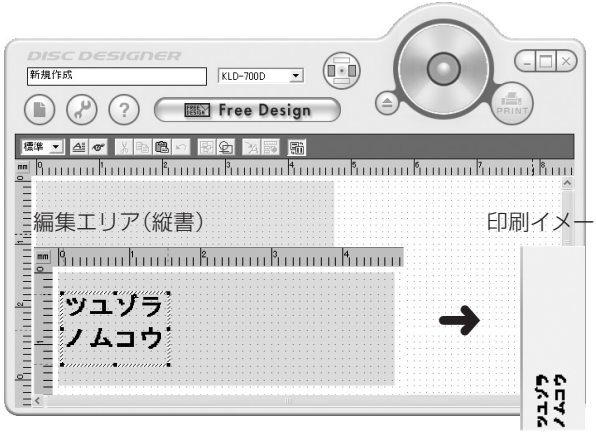
1 をクリックします。



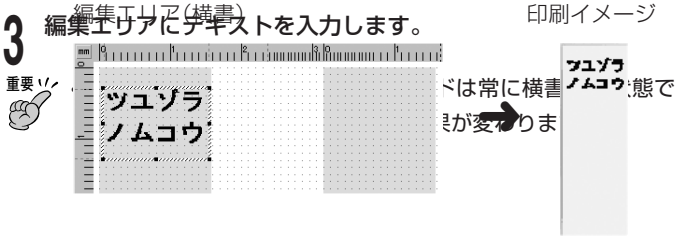
2 ボタンをクリックします。

編集エリアが縦書きの状態に変わります。

- 編集エリアを横書きのまま使用するときはこの操作は必要ありません。



3 編集エリアにテキストを入力します。



- 縦書き用のフォント(フォントの名称の前に@がついたもの)を使うことができますが、半角で入力した文字は縦書きになりません。

フィールドのサイズを変更する

フィールドのサイズ変更のしかたを説明します。

1 **フィールドを選択して、グレーの枠を表示させます。**

2 **枠の四隅いずれかをクリックして、ドラッグするとサイズが変更できます。**

＜例＞ドラッグのみのとき

- **ドラッグのみ**・・・縦横比を固定しないで変更します。
- **ドラッグ+[Shift]キー**・・・縦横比を固定して変更します。
- **ドラッグ+[Shift]キー+[Ctrl]キー**・・・画像の中心から縦横比を固定して変更します。

- 画像フィールドのサイズを変更すると、画像はフィールドに合わせて変形します。
- 文字フィールドのサイズを変更した場合は、文字の大きさは変わらず、文字が表示されるエリアの大きさだけが変わります。

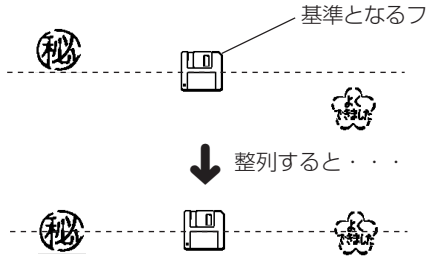
フィールドを配置する

複数のフィールドの位置を整列させたり、サイズ揃えをすることができます。文字フィールドと画像フィールドが混在した状態でも、整列やサイズ揃えをすることができます。

■整列とは？

1つのフィールドを基準にして、複数のフィールドを上下左右に整列させます。

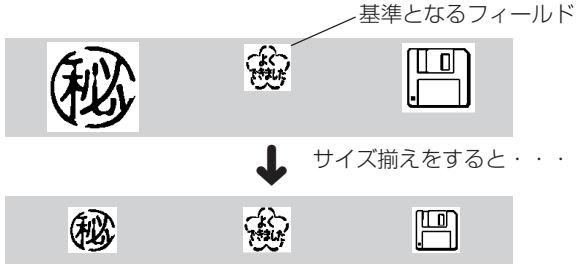
＜例＞「上下中央」を指定したとき



■サイズ揃えとは？

1つのフィールドを基準にして、複数のフィールドのサイズを同じにします。

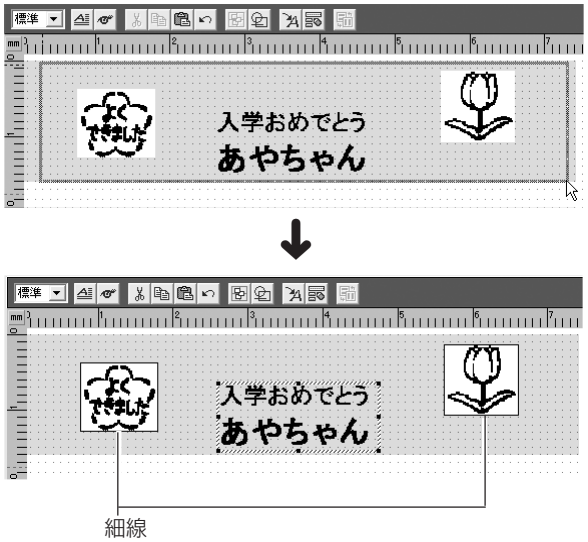
＜例＞「幅・高さ」を指定したとき



フィールドを配置する

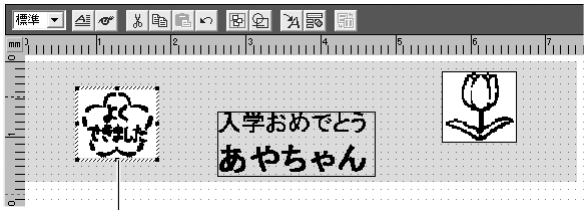
フィールドを指定し、基準となるフィールドを１つ決めてから、機能を選択します。

1 **揃えたいフィールドをドラッグしてすべて選びます。**
基準になるフィールドはグレーの線、選択したフィールドは細線で囲まれます。



- [Ctrl]キーを押しながらフィールドをすべてクリックしても選択できます。
- フィールドの選択をすべて解除するときは、フィールド以外の入力エリアをクリックします。個別に解除するときは、[Shift]キーを押しながら解除したいフィールドをクリックします。

2 **[Ctrl]キーを押しながら、基準にしたいフィールドをクリックします。**

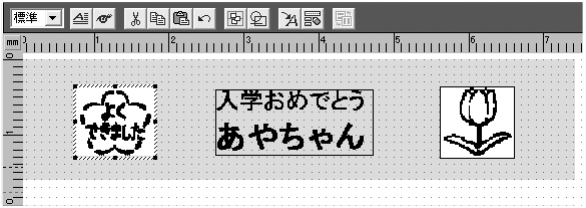


このフィールドが基準となります

3 **をクリックします。**
プルダウンメニューが表示されます。

4 **「配置」をクリックします。**

5 **使いたい機能をクリックします。（49ページ）**
選んだ機能に合わせて、フィールドが変更されます。



ここでは「整列」−「上下中央揃え」を選択しました

フィールドのプロパティ

フィールドの位置、サイズ、モノクロ化を変更できます。「単位」ボタンで設定した単位(mm,Pel,inch)と連動しています。(49ページ)

■フィールドの位置を変更する

1 **位置を変更したいフィールドを選択します。**

- フィールドを複数選んでも、変更されるのはグレーの線で囲まれた1フィールドだけです。

2 **をクリックします。**

3 **「プロパティ」をクリックします。**

- 「フィールド詳細」ダイアログが表示されます。

印刷エリア上の位置：
印刷範囲の左上からの位置を表示します。数値を入力するとフィールドが移動します。

フィールド位置：
フィールドの位置をロックするときは、「フィールドの位置を固定する」をチェックします。

4 **数値を入力し、[OK]をクリックします。**
設定した結果が『プレビュー』画面に表示されます。

■フィールドのサイズを変更する

1 **サイズを変更したいフィールドを選択します。**

2 **をクリックします。**

3 **「プロパティ」をクリックします。**

4 **「サイズ」タブをクリックします。**

サイズと倍率
「高さ」「幅」:
数値を入力すると、元のサイズに対する%(パーセンテージ)が自動的に計算されます。

「縦横比を固定する」:
チェックすると、高さと幅の倍率が連動します。
(チェックしないときは、高さと幅は個別に指定できます。)

元のサイズ：
画像をキャプチャーしたとき、またはファイルから読み込んだ画像の原寸を表します。

5 **数値を入力し、[OK]をクリックします。**
設定した結果が『プレビュー』画面に表示されます。

■モノクロ化を変更する

1 **モノクロ化を変更したい画像フィールドを選択します。**

2 **をクリックします。**

3 **「プロパティ」をクリックします。**

4 **「モノクロ化」タブをクリックします。**

各項目の設定については「カラー画像のモノクロ化について」(43ページ)をご覧ください。

- あらかじめ2値化(モノクロ化)された画像ファイルを開いたときはモノクロ化を変更することはできません。

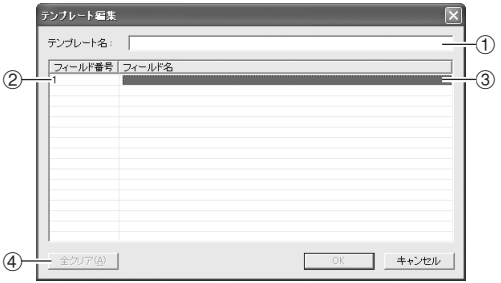
5 **変換方法と調節の割合を設定し、[OK]をクリックします。**
設定した結果が、『プレビュー』画面に表示されます。

自分で作ったレイアウトを登録する

文字フィールドの位置や大きさなどをレイアウトとして登録したり、また呼び出して使うことができます。

レイアウトを登録する

1 **文字を入力編集した後、 をクリックします。**
「テンプレート編集」ダイアログが表示されます。



①	テンプレート名	登録するときの名前を入力します。
②	フィールド番号	編集エリア内のフィールドの番号を表示します。文字フィールドの順番を表示します。
③	フィールド名	それぞれのフィールドの名前を、任意で入力できます。
④	全クリア	「フィールド名」に入力した内容をすべて削除します。

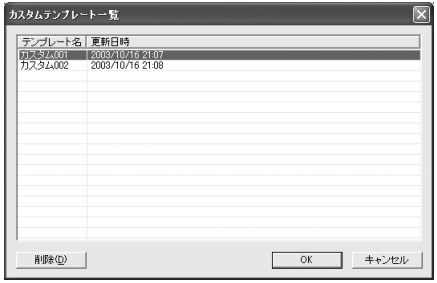
2 **それぞれの内容を入力後、[OK]をクリックします。**
現在編集エリアにあるレイアウトがフリーデザインのカスタムテンプレート一覧に登録されます。

登録したレイアウトを呼び出す

1

をクリックします。

「カスタムテンプレート一覧」画面が表示されます。

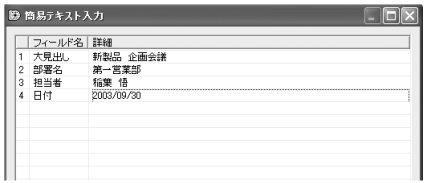


テンプレート名：登録してあるレイアウトの名称です。
更新日時　　：レイアウトが登録された日付と時間です。

2 **呼び出すレイアウトを選択し、[OK]をクリックします。**
選択したテンプレートが編集エリアに表示されます。

簡易テキスト入力を使う

呼び出したカスタムテンプレートの各文字フィールドにまとめてテキスト入力したいときや、一度作成したテキストをまとめて変更したいときには、簡易テキスト入力を利用できます。ツールバーの をクリックして、「簡易テキスト入力」画面の「詳細」の欄にテキストを入力します。



フリーテキストについて

ここでは「フリーテキスト」の特長と印刷データ作成の流れについて説明します。

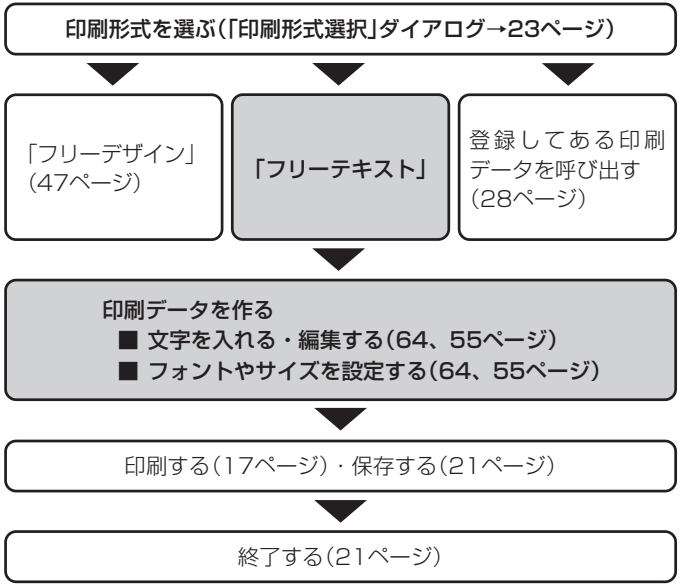
フリーテキストとは？

フリーテキストでは、編集エリアに入力された文字を印刷エリアの先頭から自動的に割り付けて、印刷データを作成します。ワープロのように文章をまとめて入力・編集でき、また印刷エリアのスペースを効率的に使えますので、文字主体の印刷データを作るのに適しています。

文字を挿入して、下のような印刷ができます。

作成の流れ

フリーテキストで印刷データを作成・印刷・保存・終了するまでの流れは次のようになります。



文字を入力する

通常のワープロソフトと同様に入力や編集ができます。(フリーテキスト)

1 編集エリアに文字を入力します。

•目的に合わせてフォントの設定などの編集をしてください。

編集エリア

新しく画面を開いたときは、カーソルは編集エリアの先頭に表示されています。『プレビュー』画面などが手前に表示されているときは、編集エリアをクリックするとカーソルが表示されます。

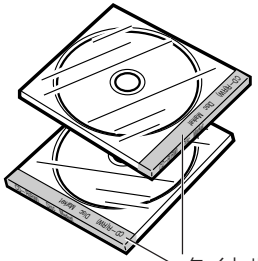
ディスクケースのタイトルバー編

ディスクケースのタイトルバーを作る

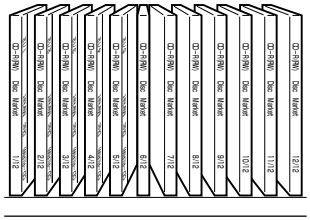
ディスクの整理に便利なタイトルバーを作ることができます。

ディスクのタイトルなどをタイトルバー用プレートに印刷して、タイトルバーを作ります。ディスクケースに取り付けて、ディスクの整理にお役立ていただけます。

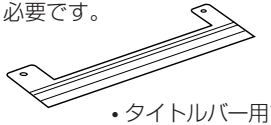
- KLD-200/KLD-300/CW-E60/CW-K80では本編の機能を使用することはできません。



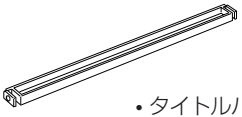
タイトルバー



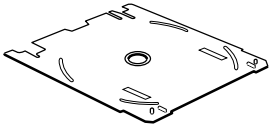
タイトルバーを印刷し、ディスクケースに取り付けるには、次のものが必要です。



- タイトルバー用プレート
（以下「プレート」と呼びます）



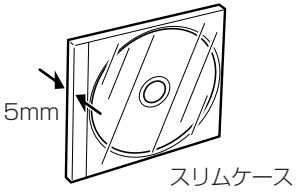
- タイトルバー



- タイトルバー用セッター
（以下「セッター」と呼びます）

重要

- プレートは一度曲げてしまうと印刷できなくなることがあります。印刷する前に折り曲げないようにご注意ください。
- タイトルバーは推奨メディアのスリムケース（5mm幅）にご使用いただけますが、ディスクケースの種類により、タイトルバーをセットできないものもあります。
詳しくは下記のURLをご参照ください。
http://casio.jp/support/EZ-USB/media/list.html



スリムケース

タイトルバー用データを作る

1 **をクリックします。**

または『プレビュー』画面の FILE をクリックします。

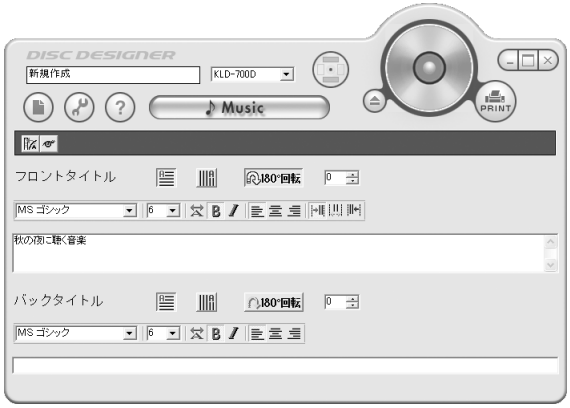
2 **「タイトルバー作成」をクリックします。**

- ディスクの編集画面に文字が入力されているときは、その内容がタイトルバーの編集画面にも反映されます。

タイトルバーの編集画面に切り替ります。

3 **文字データを入力します。**

ここではフロントタイトル部分に「秋の夜に聴く音楽」と入力します。



■書式を設定する

文字の向きや縦書き/横書きの書式を設定します。

4 **書式を選びます。**

ここでは をクリックします。

- 半角アルファベットは、縦書き/横書きの設定に関わらず、常に横書きで配置されます。

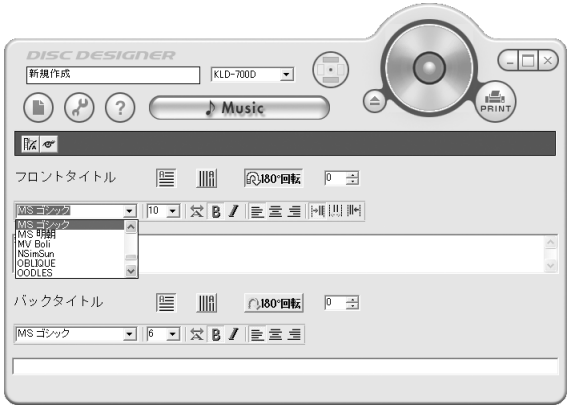
■文字の大きさ、フォント(書体)、配置を変える

5 **大きさを変えたいタイトルで、[フォントサイズ]ボックスの▼をクリックし、大きさを選びます。**

ここでは「10」を選びます。

6 **フォントを変えたいタイトルで、[フォント]ボックスの▼をクリックし、フォントを選びます。**

ここでは「MSゴシック」になっていることを確認します。



7 配置を変えたいタイトルで、 のいずれかをクリックします。

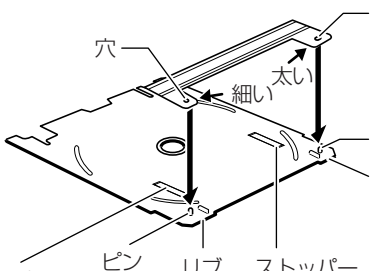
ここでは(中央揃え)と (中揃え)をクリックします。

プレートに印刷する

入力した文字を付属のプレートに印刷してみましょう。

重要
- 印刷をするときは、ディスクトレイの前に物を置かないでください。
- プレートに印刷するときは、「印刷濃度設定」を「4」または「5」にしてください。印刷濃度の設定方法については、76ページをご参照ください。

8 左右の向きに注意して、付属のセッターにプレートをセットします。

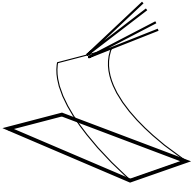


穴
プレートのピンに上から通してセットします。

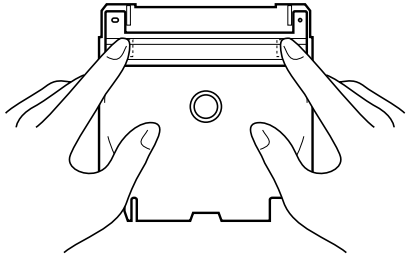
ピン

リブ
プレートがこの上に乗り上げていないことを確認してください。

ストッパー
左右2カ所にあります
粘着性があり、プレートを固定します。
はじめて使うときは、**表面保護フィルムをピンセットなどではがしてお使いください。**



- ストッパーに指でしっかり押しつけて、固定します。



重要

- セッターやプレートに異物・ごみ等がついていないことを確認してください。ごみ等がついたままセットすると、印刷面に傷がついてタイトルの印刷ができなくなることがあります。
- ストッパーの粘着が弱くなってきたときは、濡れたタオルで軽く拭いてください。
  粘着力が回復します。

9 KLD-700/CW-70をお使いの方は、プリンターの[USBリンク]を押します。

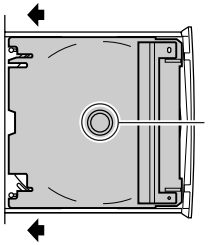
プリンターの画面に「通信準備完了」と表示されていることを確認してください。

10 PRINTをクリックします。

ディスクトレイが開きます。

11 セッターをディスクトレイにセットします。

位置合わせ用定規の下にセッターの端をもぐりこませながら、セッターがぐらつかない位置まで矢印の方向にはめ込んでください



この位置にセッターの中心を合わせてはめ込みます

12 ディスクトレイを閉めます。

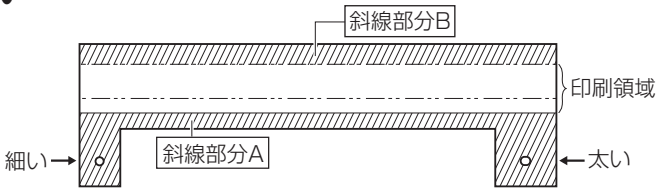
- ディスクトレイの閉めかたについて詳しくは、お手持ちのプリンターの取扱説明書をご覧ください。

13 [印刷開始]をクリックします。

印刷が開始します。

14 ディスクトレイを開いたら、セッターを取り出し、プレートをセッターから外します。

15 図のように、斜線部分A・Bともに切り離します。



重要

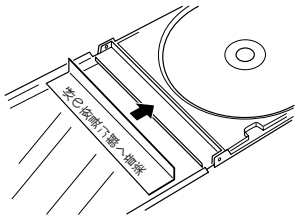
切れにくいときは、点線に沿ってハサミ等で切り離してください。無理に手で切ろうとすると、プレートがちぎれたり歪んだりするおそれがあります。

16 点線に沿って、印刷面が外側になるようにプレートを折ります。

重要

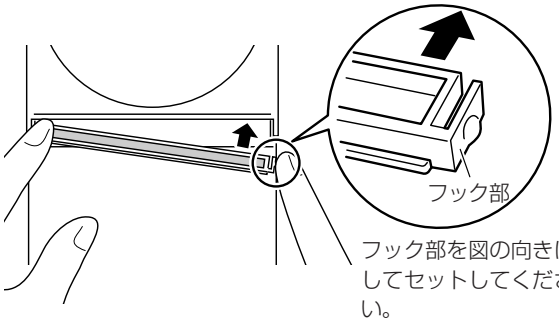
プレートの印刷面を指などでこすらないでください。文字や画像がかすれたりはがれたりするおそれがあります。

17 ディスクケースを開き、矢印の方向にプレートをセットします。



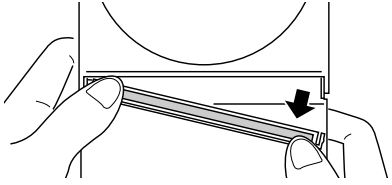
18 プレートの上から矢印の向きにタイトルバーをはめ込みます。

• 平らな面がプレートに接するようにセットしてください



■タイトルバーの外しかた

タイトルバーは矢印の向きに指で引いて外します。



重要 無理な力を加えると、タイトルバーやディスクケースが破損する恐れがありますのでご注意ください。

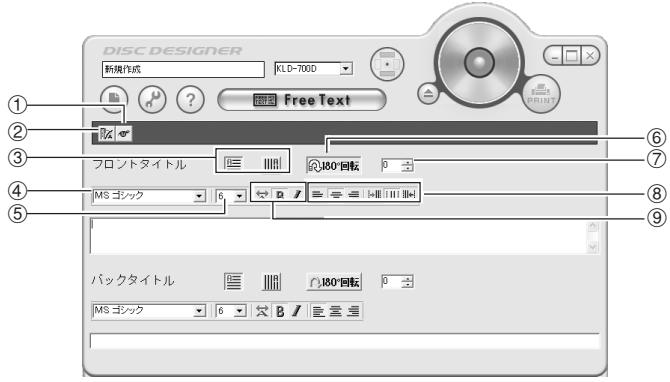
ご使用後は、セッターはタイトルバー収納ケースに入れて保管してください。

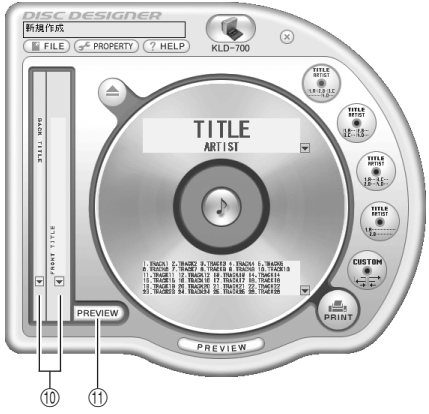
• タイトルバーデータは、ディスクの印刷データと一緒に保存されますので、呼び出して修正や印刷をすることができます。操作方法については21、28ページをご覧ください。

画面について

ここでは、タイトルバー作成画面の各項目の名称・機能について説明します。

タイトルバー作成画面





各項目の名称と機能

『編集』画面と『プレビュー』画面のアイコンや項目については25ページをご覧ください。また詳細設定について（76ページ）もご参照ください。

①	[画像]ボタン	フロントタイトルに挿入する画像を設定します。（56ページ）
②	[反映]ボタン	ディスク用の印刷データの編集画面に入力した内容を、タイトルバーの編集画面に反映します。すでに入力してある文字は、再度[反映]ボタンをクリックすると、内容が更新されます。（73ページ）
③	[縦書き／横書き]ボタン	縦書き/横書きを設定します。
④	[フォント]ボックス	文字のフォントを設定します。（55ページ）
⑤	[フォントサイズ]ボックス	文字の大きさを設定します。（55ページ） • メニューに希望のサイズがないとき、または細かく指定したいときは、[フォントサイズ]ボックスをクリックして数値を入力してください。 • 指定したフォントによっては、小さいサイズの文字はきれいに印刷されないことがあります。
⑥	[180°回転]ボタン	入力済みの文字を180°回転します。
⑦	[位置移動]ボックス	数値を入力するか をクリックして、印刷位置を調整します。 『プレビュー』画面を確認しながら操作してください。
⑧	[文字配置]ボタン	フロントタイトルの横位置と縦位置、バックタイトルの横位置の設定をします。 位置を変えたいタイトルで、 （左揃え）、 （中央揃え）、 （右揃え）、 （上揃え）、 （中揃え）、 （下揃え）をクリックします。 • バックタイトルでは「上揃え」「中揃え」「下揃え」の設定はできません。
⑨	[フォントスタイル]ボタン	「横倍」「太字」「斜体」の設定をします。 スタイルを変えたいタイトルで、 （横倍）または （太字）または （斜体）をクリックします。 • すべてを組み合わせることもできます。 • 設定を3つとも解除すると「標準」になります。 • 縦書き時には、「横倍」と「斜体」は使用できません。
⑩	[スタイル]パネル	タイトルバーのレイアウトを変更します。設定したレイアウトの結果は、「プレビュー」画面で確認できます。 パターンを設定するときは、設定したいパターンをクリックします。 クリックしたパターンの[スタイル]パネルが表示されます。 フロントタイトル/バックタイトルのレイアウトはそれぞれ4種類あります。 **●フロントタイトル** • 横書き：秋の夜に聴く音楽 • 横書き：（180°回転） • 縦書き： • 縦書き：（180°回転） **●バックタイトル** • 横書き：秋の夜に聴く音楽 • 横書き：（180°回転） • 縦書き： • 縦書き：（180°回転）
⑪	[プレビュー]ボタン	印刷イメージを表示します。

右クリックメニュー

カーソルを編集エリアに置き右クリックすると、次のようなメニューが表示されます。

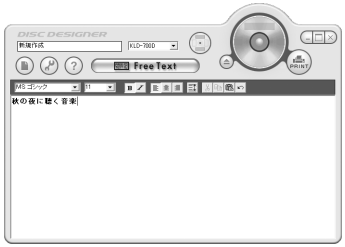
①	元に戻す	1つ前の状態に戻ります。
②	切り取り	選択した文字を切り取ります。
③	コピー	選択したデータをコピーします。
④	貼り付け	コピーしたデータを貼り付けます。
⑤	削除	選択した『入力ボックス』内の行または文字列を、削除します。
⑥	すべて選択	その行の文字をすべて選択状態にします。
⑦	タイムスタンプ	日付を『入力ボックス』のカーソルの位置に挿入します。 お使いのパソコンで設定されている日付が挿入されます。
⑧	定型句／音楽用／デジタルカメラ用	本ソフトにあらかじめ登録されている定型句を『入力ボックス』のカーソルの位置に表示します。音楽用／デジタルカメラ用にはそれぞれの印刷形式の定型句が登録されています。挿入したい定型句をクリックしてください。 • 定型句の詳細については、78ページをご覧ください。
⑨	ユーザー	「詳細設定」の「定型句」で定型句を登録しているとき表示されます。『入力ボックス』のカーソルの位置に挿入できます。挿入したい定型句をクリックしてください。定型句の登録について詳しくは、75ページをご覧ください。

ディスクの文字データをタイトルバーに使う

印刷データの編集画面に入力した内容を、タイトルバーの編集画面に使うことができます。

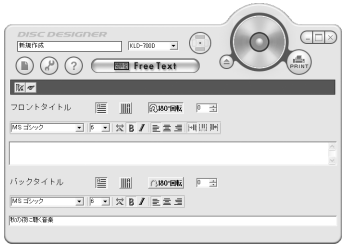
1 印刷データの編集画面で文字を入力し、をクリックします。

または『プレビュー』画面の FILE をクリックします。



2 「タイトルバー作成」をクリックします。

印刷データの編集画面に入力されている文字が、タイトルバーの編集画面にも反映されます。



• タイトルバーを修正した後でも、［反映］ボタンをクリックすれば、印刷データの編集画面にすでに入力してある文字を、タイトルバーの編集画面に反映できます。

その他編

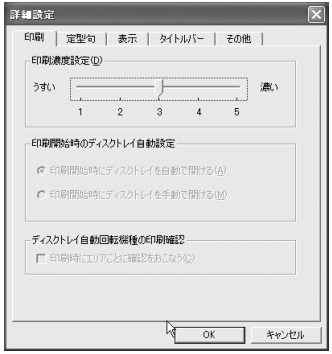
詳細設定について

『編集』画面で をクリックすると、印刷データを作成しているときや印刷するときの、さらに詳しい設定ができます。

印刷時の設定をする

1 **をクリックします。**

または『プレビュー』画面の をクリックします。



印刷濃度設定：
印刷が濃すぎたり薄すぎた場合にスライダーを左右に動かして濃度を調整します。

- 推奨メディア別の最適な印刷濃度は、別紙「推奨メディア一覧」をご参照ください。

印刷開始時のディスクトレイ自動設定：
印刷開始時にディスクトレイを自動で開くか、手動で開くかを設定します。

ディスクトレイ自動回転機種の印刷確認：
各エリアごとに印刷するかどうかの確認メッセージを表示させるかどうかを設定します。

- 機種によっては、「印刷開始時のディスクトレイ自動設定」と「ディスクトレイ自動回転機種の印刷確認」は使用できません。

2 **設定終了後、[OK]をクリックします。**

定型句を登録/削除する

よく使う語句を定型句として登録しておくことができます。定型句の使いかたは「右クリックメニュー」(51ページ)をご覧ください。

1 **をクリックします。**

または『プレビュー』画面の をクリックします。

2 **「定型句」タブをクリックします。**

新しく定型句を登録する：
「新規登録」欄に、登録したい定型句を入力して、[登録する]をクリックします。

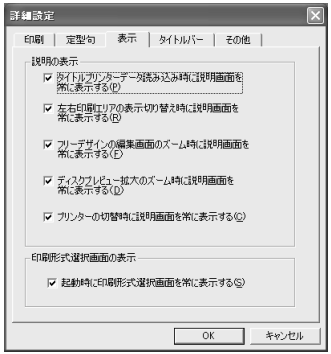
登録した定型句を削除する：
一覧に表示されている定型句をクリックして反転表示させ、[削除]をクリックします。

3 **設定終了後、[OK]をクリックします。**

操作上の注意書きの表示／非表示を切り換える

1 **をクリックします。**
または『プレビュー』画面の PROPERTY をクリックします。

2 **「表示」タブをクリックします。**



説明の表示：
チェックすると、操作上の注意書きを以下の場合に表示します。
- タイトルプリンターデータを読み込むとき（39ページ）
- 左右の印刷エリアの表示を切り替えるとき（58ページ）
- フリーデザインの編集エリア、『ディスクプレビュー拡大』画面で表示倍率を「標準」から「拡大」や「縮小」に変更するとき（49ページ、18ページ）
- プリンターを切り替えるとき（27ページ）

印刷形式選択画面の表示：
チェックすると、本ソフトを起動したときに印刷形式選択画面を表示します。

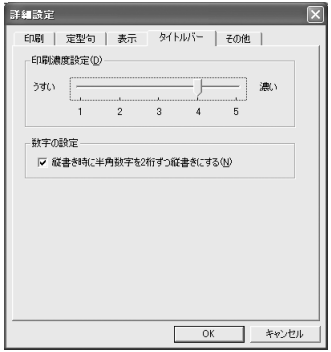
3 **設定終了後、[OK]をクリックします。**

タイトルバーを印刷するときの詳細設定をする

KLD-200/KLD-300/CW-E60/CW-K80では、タイトルバーを印刷することはできません。

1 **をクリックします。**
または『プレビュー』画面の PROPERTY をクリックします。

2 **「タイトルバー」タブをクリックします。**



印刷濃度設定：
タイトルバーの印刷が濃すぎたり薄すぎた場合にスライダーを左右に動かして濃度を調整します。

数字の設定：
チェックをすると縦書き時の半角数字を2桁ずつ縦書きにして印刷します。

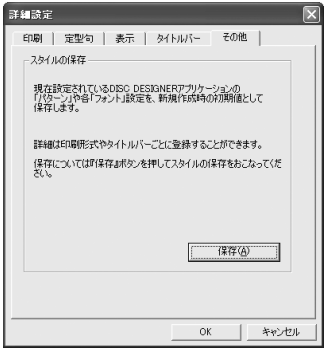
3 **設定終了後、[OK]をクリックします。**

スタイルの保存をする

自分で設定したフォントや書式を、新規作成時の初期値として保存できます。

1 **『編集』画面または『プレビュー』画面で をクリックします。**

2 **「その他」タブをクリックします。**



スタイルの保存：
現在設定されている印刷パターン、書式レイアウト、およびフォントのすべての設定を保存します。

- 次回、新規印刷データを作成するときに、保存したスタイルが呼び出されます。
- 印刷形式やタイトルバーごとに1つずつ保存できます。

重要 フリー形式のときは新規作成時のフォント種類・サイズ・スタイルの初期値として設定されます。

3 **設定終了後、[OK]をクリックします。**

ヘルプ機能について

本ソフトのヘルプ機能について説明します。

本ソフトのヘルプでは、次のことができます。

- 機能説明・補足説明の表示(ヘルプ)
- カシオホームページへの接続
- ソフトのバージョン情報の表示

ヘルプを使う

1 **をクリックします。**
または『プレビュー』画面で ? HELP をクリックします。

2 **表示されたメニューから「ヘルプ(H)」をクリックします。**

3 **タブをクリックして検索の方法を決め、各項目をクリックしてヘルプを表示させます。**

カシオのホームページへアクセスできます
パソコンがインターネットに接続できる環境にあるときは、 から「カシオホームページ」をクリックすると、EZ-USB製品情報が掲載されているカシオのホームページに接続できます。
カシオのホームページには最新の情報や最新のソフトウエアがリリースされています。ぜひ、アクセスしてみてください。

定型句一覧

本ソフトに内蔵の定型句一覧です。定型句の使いかたについては、27、51、73、75ページをご覧ください。

定型句

- TEL:
- FAX:
- 〒
- 内線:
- 直通:
- E-mail:
- http://
- 連絡先:
- 担当:
- 受付者:
- 期限:
- 発行日:

音楽用

- BEST HIT
- ベストヒット
- BEST ALBUM
- ベストアルバム
- 名曲集
- オムニバス
- My Favorites

デジタルカメラ用

- 撮影日:
- 撮影者:
- 撮影場所:
- 撮影画質設定:
- 高精細:
- 標準:
- エコノミー:
- 春
  - ひな祭り
  - 桃の節句
  - 春休み
  - 入学式
  - 新学期
  - 子供の日
  - 端午の節句
  - ゴールデンウィーク
- 夏
  - 夏休み
  - 海開き
  - 自由工作
  - 自由研究
  - 家族旅行
  - 国内旅行
  - 海外旅行
  - キャンプ
- 秋
  - 遠足
  - 修学旅行
  - 運動会
  - 体育祭
  - 文化祭
- 冬
  - 冬休み
  - クリスマス
  - 正月
  - 初詣
  - 節分

こんなときは（トラブルシューティング）

本ソフトがうまく動かないときには、次の対処方法にしたがってトラブルを解決してください。ここに記載されていない症状・原因については、お使いのプリンター本体の取扱説明書をご覧ください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●何も動かない	本ソフトがインストールされていない	いったんUSBケーブルを外して、本ソフトをインストールし直してください。インストールが完了したらUSBケーブルを接続してください。
	タイトルプリンター用プリンタードライバーがインストールされていない	いったんＵＳＢケーブルを外して、ディスクタイトルプリンター用プリンタードライバーをインストールしてください。インストールが完了したらＵＳＢケーブルを接続してください。
	ＵＳＢケーブル、ＡＣアダプター、電源コードが接続されていない	確実に接続してください。（詳しくは、お使いのプリンター本体の取扱説明書をご覧ください。）
	パソコンの電源が入っていない	パソコンを確実に立ち上げてから操作をしてください。
●印刷が不鮮明になった ●印刷がきれいにできない ●印刷が薄い	下記のようなディスクにはきれいに印刷できないことがあります。 ・印刷面が平滑でないもの ・印刷面にデザインが施されていたり罫線が印刷されているもの ・インクジェット専用のもの	同梱の「推奨メディア一覧」または下記ＵＲＬをご参照の上、推奨メディアをご使用ください。 http://casio.jp/support/EZ-USB/media/

症状	考えられる原因	ご確認ください
●印刷が不鮮明になった ●印刷がきれいにできない ●印刷が薄い	プリンターヘッドが汚れている	クリーニングをしてください。(詳しくは、お使いのプリンターの取扱説明書をご覧ください。)
	印刷濃度が適切でない	印刷濃度を調節してください。(75、76ページ)
●インクリボンと異なった色で印刷されてしまう	印刷するディスクの色とインクリボンの色の組み合わせによっては、インクリボンと異なった色味で印刷されることがあります。	より色の薄いディスク、またはより色の濃いインクリボンカセットで印刷してください。
●印刷位置がずれる	ディスクのセット方法が適切でない	位置合わせプレートを使用し、ディスクを確実にセットしてください。(19ページ)
●印刷されない	インクリボンを使いきった	新しいインクリボンカセットに交換してください。(詳しくは、お使いのプリンターの取扱説明書をご覧ください。)
	タイトル用プリンタードライバーが正しくインストールされなかった	スタート→コントロールパネル→システム→ハードウェア→デバイスマネージャで、「デバイスマネージャ」ダイアログボックスを表示させ、「USBコントローラ」の下に「KLD-200Device(またはKLD-300Device/KLD700Device/CW-100Device/CW-70Device/CW-50Device/CW-E60Device/CW-K80Device)」が正常に表示されているか確認してください。?マークや!マークがKLD-200Device(またはKLD-300Device/KLD700Device/CW-100Device/CW-70Device/CW-50Device/CW-E60Device/CW-K80Device)についているときは、いったんUSBケーブルを外して、本ソフトとディスクタイトルプリンター用プリンタードライバーをインストールし直してください。インストールが完了したらUSBケーブルを接続してください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●印刷されない	プリンターの[機能]ボタンを押し、指を離してから[USBリンク]ボタンを押していない(KLD-200をお使いのとき)	プリンターの[機能]ボタンを押し、指を離してから[USBリンク]ボタンを押して、プリンターの画面に「通信準備完了」と表示させてください。(KLD-200をお使いのとき)
	プリンターの[USBリンク]ボタンを押していない(KLD-300/KLD-700/CW-70/CW-K80をお使いのとき)	プリンターの[USBリンク]ボタンを押して、プリンターの画面に「通信準備完了」と表示させてください。(KLD-300/KLD-700/CW-70/CW-K80をお使いのとき)
●入力したデータの末尾が印刷されない	1行に印刷できる文字数の限度を超えて入力されている	フォントサイズを小さくするか、1行の文字数を減らしてください。
	印刷できる行数の限度を超えた行数のデータが入力されている	フォントサイズを小さくするか、データの行数を減らしてください。
●CD-TEXTの内容が読み込めない	ご使用の音楽CDにCD-TEXT情報が記録されていない	入力ボックスに直接データを入力するか、CD情報を掲載しているホームページで文字情報をコピーした後、入力ボックス上でマウスを右クリックして貼り付けてください。
	ご使用のCDドライブがCD-TEXT読み取りに対応していない	
●データ一覧ファイルが作成されない	作成先に指定したドライブまたはメディアが書き込み禁止になっているか、	書き込み禁止を解除するか、不要なファイルを削除して空き容量を増やす。または、他のドライブ、メディアに変更し保存してください。
●印刷途中でディスクが止まった(CW-E60をお使いのとき)	空き容量がない	
	電源コードまたはACアダプター接続用端子のジャックが奥までしっかり差し込まれていない	電源コードまたはACアダプター接続用端子のジャックを正しく接続してください。
	故障など	ディスクが、ヘッドとローラーの間にはさまれて取り出せない場合は、無理に取り出そうとしないで、プリンターの取扱説明書の「各部の名前とはたらき」の説明をご覧ください。それでもディスクを取り出すことができないときは、カシオテクノ修理相談窓口に連絡してください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●印刷が始まらない（CW-E60をお使いのとき）	ディスクが正しくセットされていない	ディスクを一度取り出し、スリットに沿ってまっすぐ左奥まで挿入してください（19ページ）。
●ディスクが取り出せない（CW-E60をお使いのとき）	故障など	プリンターの取扱説明書の「各部の名前とはたらき」の説明をご覧ください。

エラーメッセージ一覧

メッセージ内容	対処方法
未対応もしくはファイルが破損しているか、他の原因により読み込みを行うことができません	正しいファイルを指定してください。また、指定したファイルが他のアプリケーションで使用中の場合にはそのアプリケーションを終了させてください。
通信エラーが発生しました	プリンターとパソコンが接続されていることを確認してください。または、プリンターの電源が入っていることを確認して、もう一度印刷してください。
エラーが発生しました	プリンターの状態が異常です。一旦電源を入れ直してください。その後、印刷をやり直してください。
	電源電圧が異常です。電池が消耗しているかもしれません。プリンターにＡＣアダプターを接続するか、プリンターの電池を交換してください。
	ＵＳＢドライバーまたはディスクタイトルプリンター用プリンタードライバーが正常にインストールされているかどうかを確認してください。
印刷中止が指定されました	印刷がキャンセルされました。
確認してください	指定のプリンターが接続されていません。プリンターを確認して、もう一度印刷を実行してください。
	接続されているプリンターが指定のものとは違います。プリンターを確認して、もう一度印刷してください。

メッセージ内容	対処方法
確認してください	プリンターにディスクがセットされていません。ディスクをセットしてください。
	プリンターにセッターがセットされていません。セッターをセットしてください。
	プリンターにインクリボンカセットが装着されていません。インクリボンカセットをプリンターに装着してください。
	インクリボンカセットの残量がありません。新しいインクリボンカセットに交換してください。
	プリンターのヘッド温度が高すぎます。しばらくしてから印刷を再開してください。
	プリンターと通信ができません。プリンターが接続されている場合は、プリンターの[機能]ボタンを押し、指を離してから[USBリンク]ボタンを押してリンクしてください(KLD-200をお使いのとき)。 KLD-300/KLD-700/CW-70/CW-K80をお使いのときは、[機能]ボタンを押さないで、直接、[USBリンク]ボタンを押してください。
プリンターの電源が消耗しています。印刷を続行しますか?	[印刷継続]ボタンを押して印刷することもできますが、電池が消耗した状態で印刷を続けるとプリンターの電源がＯＦＦになります。プリンターの電池を交換するか、ＡＣアダプターを接続して印刷してください。
プリンターが接続されているＰＣからの応答がありません。プリンターが接続されているPCで印刷状況を確認してください。	パソコンとプリンターが正しく接続されているか確認してください。

CASIO

カシオ計算機株式会社

〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2

MO0607-C